

2021年11月3日～1日

世論調査（共同、読売・NNN）、岸田総裁記者会見全文、憲法改正発言、総選挙結果、立憲民主党

野党共闘「見直しを」61% 岸田内閣支持、微増の58%

2021/11/2 17:24 (JST)11/2 21:45 (JST)updated 共同通信社



国会議事堂

共同通信社が第49回衆院選の投開票を受けて1、2両日実施した全国緊急電話世論調査によると、衆院選で統一候補を擁立した立憲民主党など5野党の共闘関係に関し「見直した方がいい」が61.5%に上った。「続けた方がいい」は32.2%だった。岸田内閣の支持率は、10月上旬の発足時の55.7%から58.1%に増えた。

自民、公明の与党が絶対安定多数を確保し政権を維持した衆院選結果には「どちらともいえない」との回答が47.9%で最も多かった。「よかった」は35.3%、「よくなかった」は16.5%だった。

有効回答者数は、固定電話522人、携帯電話522人。

共同通信緊急世論調査、野党共闘「見直しを」61% 岸田内閣の支持率増

SankeiBiz2021.11.2 17:48

共同通信社が衆院選の投開票を受けて1、2両日実施した全国緊急電話世論調査によると、衆院選で統一候補を擁立した立憲民主党など5野党の共闘関係に関し「見直した方がいい」が61.5%に上った。「続けた方がいい」は32.2%だった。岸田内閣の支持率は、10月上旬の発足時の55.7%から58.1%に増えた。



立憲民主党の枝野代表（右）と共産党の志位委員長

長＝9月、国会

自民、公明の与党が絶対安定多数を確保し政権を維持した衆院選結果には「どちらともいえない」との回答が47.9%で最も多かった。「よかった」は35.3%、「よくなかった」は16.5%だった。

議席配分については「野党がもっと獲得した方がよかった」が42.5%で最多。「適切だった」は39.9%、「与党がもっと獲得した方がよかった」は14.0%だった。

政党支持率では、衆院選で躍進した日本維新の会が10月の5.0%から14.4%へ大幅に伸び、立憲民主党を超えて野党トップに立った。

岸田内閣支持56%、優先課題は「景気や雇用」が最多...読売世論調査

読売新聞 2021/11/02 22:00

読売新聞社が1～2日に実施した緊急全国世論調査で、岸田内閣の支持率は56%となり、前回（10月14～15日調査）の

52%から上昇した。不支持率は29%（前回30%）。



岸田首相

今後、岸田内閣に優先して取り組んでほしい課題を聞くと（複数回答）、「景気や雇用」91%が最多で、「年金など社会保障」80%、「新型コロナウイルス対策」79%、「環境やエネルギー」74%などが続いた。

立民と共産が今後も協力「よいと思わない」57%...読売世論調査

読売新聞 2021/11/02 22:00

衆院選での野党共闘に厳しい見方が示された。読売新聞社が衆院選の結果を受けて1～2日に実施した緊急全国世論調査で、立憲民主党が今後も共産党と協力して政権交代を目指すのがよいと思うかどうかを聞くと、「思わない」が57%と半数を超えた。「思う」は30%だった。



立憲民主党の枝野代表

今回の衆院選で、立憲民主党や共産党などの野党が多く選挙区で候補者を一本化したことを「評価する」は44%で、衆院解散直後に行った前回（10月14～15日調査）の52%から8ポイント低下し、「評価しない」の44%（前回36%）と並んだ。

衆院選で与党が過半数を上回る議席を獲得した結果については、「よかった」が55%で、「よくなかった」の28%を上回った。

維新、近畿では支持率34%の「第1党」に...読売世論調査

読売新聞 2021/11/02 22:00

読売新聞社の緊急全国世論調査で、日本維新の会の政党支持率は10%となり、前回（10月14～15日調査）の3%から大幅に上昇した。



日本維新の会の松井代表（左）と吉村副代表

地域別にみると、近畿地方では支持率が34%（前回13%）に達し、自民党の27%（同34%）を抜いて「第1党」に躍り出た。

その他の政党支持率は、

自民党39%

立憲民主党11%

公明党4%

国民民主党2%

共産党2%

れいわ新選組2%

社民党1%
NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で0%
無党派層は26%だった。
調査は衆院選の結果を受けて1~2日に実施した。

緊急世論調査 選挙結果「よかった」55%

NNN2021.11.02 22:00

衆議院総選挙が行われたのを受けて、NNNと読売新聞が実施した緊急の世論調査で、今回の選挙結果について「よかった」と答えた人は55パーセントでした。

世論調査で、今回の衆院選で与党が過半数を上回ったことについてたずねたところ、「よかった」が55パーセント、「よくなかった」が28パーセントでした。

選挙の結果については、「ちょうどよい」が41パーセント、「野党がもっと議席を取った方がよかった」が40パーセント、「与党がもっと議席を取った方がよかった」が14パーセントでした。立憲民主党や共産党などの野党が多く選挙区で候補者を一本化したことについては「評価する」が44パーセント、「評価しない」が44パーセントで、きつ抗しました。

立憲民主党は今後も共産党と協力して政権交代を目指すのがよいかは、「よいと思わない」が57パーセント、「よいと思う」が30パーセントでした。

岸田内閣の支持率は前回より4ポイント高くなり、56パーセントでした。

■NNN・読売新聞世論調査

11/1~11/2 全国有権者に電話調査

固定電話 441人 (回答率58%)

携帯電話 666人 (回答率43%)

合計 1107人が回答

<https://www.ntv.co.jp/yoron/>

第49回衆議院議員選挙の結果を受けて 岸田総裁記者会見(全文)

自民党 2021年11月1日



(選挙結果の受け止め)

内閣総理大臣、自民党総裁、岸田文雄です。昨日の衆議院議員選挙で、我々に、貴重な一票を投じていただいた有権者の皆様に、心から御礼申し上げます。

衆議院議員選挙は、政権選択選挙であります。

大変厳しい選挙でありましたが、引き続き、「自公政権」の安定した政治の下で、そして「岸田政権」の下で、この国の未来をつくり上げていって欲しいという民意が示されたことを、大変ありがたく、また、身が引き締まる思いで受け止めております。

そして、自民党に対しましても、261議席という貴重なご支援をいただきました。責任政党自民党として、国民の負託にこたえてまいります。

一方で、今回の総選挙において、我が党に対して、多くの厳しい

声も寄せられたことについては、厳粛に受け止めなければなりません。

今後、各選挙区の結果を分析し、これからの国政、そして、次の選挙に活かしていきます。

先ほど、自公党首会談を行い、連立合意に署名いたしました。引き続き、丁寧できめ細かい政策調整を行い、安定感を持ちながらも、果敢な政策実行に取り組んでまいります。

自民党総裁選から、組閣、そして、解散総選挙と、スピード感を持って進めてきました。国民の皆さんの信任を得た今、皆さんからいただいた一票一票の重みを胸に、今後は、このスピード感を、政策実行の面で発揮していきます。

(新型コロナ対応)

先ず、新型コロナ対応です。今月前半までに、新型コロナ対応の全体像を国民の皆さんにお示しします。

入院を必要とする方が、確実に入院できる体制を、11月末までに整備します。

全ての自宅・宿泊療養者に対し、陽性判明日か、遅くとも、その翌日には、医師などの専門家が連絡を取る即応体制を構築します。

デジタルの力を活用し、感染拡大時における病床使用率を病院毎に見える化する仕組みも作ります。

ワクチン、検査、飲める治療薬、この一連の流れを抜本的に強化します。3回目のワクチン接種を12月から開始するとともに、無料検査の範囲を大幅に拡大します。そして、早期治療の切り札である飲み薬について、年内実用化を目指し、承認された薬について、必要量を確保します。

これまでの新型コロナ対応を徹底的に検証し、感染症危機管理の抜本的強化、感染症危機管理の司令塔組織の創設にも取り組みます。

(経済対策)

第二は、経済対策です。私自らがリーダーシップをとり、与党とも連携して大型の経済対策を11月中旬に策定します。そして、年内のできるだけ早期に補正予算を成立させ、国民の皆さんに、一刻も早くお届けします。

経済対策には、非正規、子育て世代などで生活にお困りの方へのプッシュ型の給付金を盛り込み、国民の生活を支えていきます。事業主向けの給付金については、地域、業種を問わず、来年3月まで見通せるような形で、持続化給付金並みの措置を盛り込みます。雇用調整助成金の特例措置を来年3月まで延長します。経済再生に向け、消費を喚起するため、安全・安心な形に見直した上で、GoToトラベルの再開を検討していきます。

(新しい資本主義の起動)

経済対策には、新しい資本主義を起動するための取組も盛り込みます。

令和版所得倍増を目指し、成長を実現し、その果実を国民お一人お一人に、給与の引き上げという形で実感していただきます。そのために、新しい資本主義実現会議をはじめ、デジタル臨時行政調査会、デジタル田園都市国家構想実現会議の議論を本格化させます。

そのためにまず行うのは、科学技術、デジタル、地方、経済安全保障といった成長分野への大胆な投資です。

10兆円の大学ファンドを実現し、世界最高水準の研究大学を形成します。ワクチン・治療薬の研究開発・国内生産体制の強化を支援します。

デジタル田園都市国家構想の具体化に向け、デジタルを活用した地域の自主的な取組を応援するための交付金を大規模に展開します。また、5Gや半導体、データセンターに加え、光コンピューティング技術といった、デジタルインフラへの投資を推進し、地域からデジタルの社会実装を進めます。

地域の成長の担い手である中小企業が、新型コロナウイルスの危機を乗り越え、新たな事業展開ができるよう、積極的に支援するとともに、金融面での環境整備も図っていきます。

経済安全保障については、重要技術育成やサプライチェーン強靱化などを進める法案の準備を加速します。

もう一つ重要な柱は、官民を挙げて、国民一人一人の給料を引き上げていくための具体的なアクションプランです。

賃上げ税制の抜本的強化や、補助金の要件として、賃上げを求めることで、企業による賃上げを強力に促します。

さらに、私自ら、新しい資本主義実現会議の場で、労使の代表と向き合い、賃上げに向けた議論を主導します。

企業の成長と、給与の引き上げを両立するためには、働き手が、デジタルなどの新しい時代のスキルを得ることも重要です。中小・小規模事業者を中心に、自らのスキル磨きや、企業による人的投資を大胆に支援します。

看護、介護、保育などの現場で働いている方々の収入を増やしていくため、来週にも、公的価格評価検討委員会を設置し、公的価格の在り方を抜本的に見直していきます。

さらに、子ども庁の創設、働き方に中立的な勤労者皆保険制度、人生100年時代の全世代型社会保障などの課題にも取り組んでいきます。

(外交・安全保障)

外交・安全保障においては、首脳外交を積極的に展開します。米国をはじめとした同盟国・同志国には、可能な限り早期に、直接訪問し、あるいは、これら諸国の首脳を我が国にお迎えします。国際会議の機会や電話会談も活用してまいります。

早速、明朝には、COP26に出席するため、イギリスに向けて出発します。我が国が2050年カーボンニュートラルの旗を堅持するのはもちろんのこと、アジア全体でのゼロエミッション化に向け、我が国がリーダーシップを発揮してまいります。こうした国際約束を実現するため、経済対策では、新たなアジア支援の枠組みへの資金拠出や、EVの充電ステーション、蓄電池製造設備など、クリーンエネルギーへの投資も柱の一つとして盛り込みます。私が指示した国家安全保障戦略等の改訂については、今後国家安全保障会議で徹底的に議論を行い、ミサイル防衛力、AIなどの先端技術、宇宙・サイバーなどの新たな課題にスピード感を持って対応してまいります。

(憲法改正)

最後に、憲法改正についてです。党是である、憲法改正に向け、精力的に取り組んでいきます。

与野党の枠を超え、憲法改正の発議に必要な国会での三分の二以上の賛成を得られるよう議論を深めます。併せて、国民の皆さんの御理解を得るための活動もしっかりと行っていきます。

(おわりに)

選挙戦で全国を回る中、私が感じた、国民の皆さんが抱えている、コロナへの不安、そして、経済再生への期待。

この危機を乗り越え、未来を切り拓いて行こうとする意志。厳しさを増す国際情勢への危機感。そして、何よりも、政治の安定と、政策の実現を強く求める切実な願い。

全国で私達が、受け止めてきた、国民の皆さんの声に応えるための政策を、スピード感を持って断行していきます。

選挙戦という戦いが終わり、これから、政権を待ち受けているのは、政策実現のための戦いです。

成長のための改革に大胆に取り組むとともに、分配のための新たな仕組みをつくり、動かしていきます。

私は、自民党総裁として、内閣総理大臣として、国民の皆さんの声を丁寧に聞きながら、全ての国民の皆さんの先頭に立ち、新たな時代を切り拓いていきます。

国民の皆さんにも、ぜひ、ご協力をお願い申し上げます。



参院選までに憲法改正案を 松井維新代表

時事通信 2021年11月02日 18時14分



日本維新の会の松井一郎代表=10月31日、大阪市北区

日本維新の会の松井一郎代表は2日、大阪市役所で記者会見し、憲法改正について「来年の参院(選挙)までに改正案を固め、参院選と同時に国民投票を実施すべきだ」と述べた。

松井氏は「憲法審査会をボイコットする立憲(民主党)、共産党を待たせても議論は進まない。(与党が)スケジュールを決めないと先延ばしになる」と指摘。参院選を期限とした上で、「そこに向けて各党は憲法改正案をしっかりと出すべきだ」と主張した。

憲法改正の国民投票「来夏の参院選と同日実施を」 維新・松井代表

朝日新聞デジタル 11/2(火) 16:20 配信



記者会見で質問に答える日本維新の会の松井一郎代表=2021年11月2日午後2時10分、大阪市役所、本多由佳撮影

日本維新の会の松井一郎代表(大阪市長)は2日の定例記者会見で、国会で来夏の参院選までに憲法改正原案をまとめて改正を発議し、国民投票を参院選の投票と同じ日に実施するべきだとの考えを示した。「投票率も上がるし、大きな選挙のテーマにもなる」とした。

維新は、教育無償化や統治機構改革、憲法裁判所の設置に向け、憲法を改正するべきだと主張している。松井氏は憲法改正などを議論する国会の憲法審査会について、「立憲民主党や共産党のボイコットで前に進まない。ボイコットする側をいくら待っても仕方ない」と発言。「憲法審査会を正常化させ、スケジュールを決め、まともな議論をして、最終的には（国民投票で）国民に（憲法を改正するかどうか）決定していただくべきだ」とした。

岸防衛相 衆院選結果受け「敵基地攻撃能力」の議論も進める NHK2021年11月2日 14時10分



衆議院選挙の結果を受けて、岸防衛大臣は日本の安全保障環境が厳しさを増していることへの国民の理解は進んできているとして「敵基地攻撃能力」の保有も含めた、抑止力の強化の検討を進めていく考えを示しました。

今回の衆議院選挙の結果について岸防衛大臣は、記者会見で「日本の安全保障環境が非常に厳しい状況に置かれていることを説明し、いわゆる『敵基地攻撃能力』も含めた抑止力の強化も訴えてきた。国民の理解は進んできている」と述べました。

そして「岸田総理大臣の指示のもとで、国家安全保障戦略などの改定に取り組む中で、いわゆる『敵基地攻撃能力』の保有も含めあらゆる選択肢の検討をする」と述べ、抑止力の強化の検討を進めていく考えを示しました。

ばらついた獲得議席の予測 出口調査は各社同じデータ、分析で違い

朝日新聞デジタル 2021年11月1日 22時09分



衆院選で当選確実となった候補者の名前に

花を付ける自民党の岸田文雄総裁=2021年10月31日午後9時43分、東京都千代田区の党本部、西畑志朗撮影



自民党が単独過半数ラインを上回り、野党第1党の立憲民主党が議席を減らした今回の衆院選。31日午後8時に、報道各社は各党の獲得議席の見通しを一斉に報じましたが、予測にはばらつきがみられました。

【結果詳報】あなたの選挙区の当落は 与野党の獲得議席は

それぞれ調査データをもとに報じているはずなのに、なぜ違いが生じるのか。約25年間にわたって選挙報道や世論調査にかかわってきた朝日新聞社の堀江浩編集委員（選挙・世論調査担当）に聞きました。

——朝日新聞社では、どのように情勢を予測したのですか。

全国289選挙区のうち8670投票所を選び、投票を終えた有権者に投票先や支持政党を回答してもらいました。有効回答は41

万1467人。調査の量や質を保ちながら経費を削減するため、今回から共同通信社など5社と合同で実施しました。なので、朝日新聞社を含む6社は同じデータを使っています。

——調査データが同じなら、合同で実施した各社は同じ予測になるのではないですか。

それは違います。コンピューターで自動的に予測をはじき出しているわけではありません。担当者が調査の誤差や傾向を考慮し、データを評価しているのです。

朝日新聞社の場合は、報じるまでには三つの段階があります。

まず、生データが同じでも、どのように集計するかで違いが出てきます。年代をどこで切って分析するか、といったことです。

第2段階は、集計データをもとに289の選挙区ごとに各候補者の「当選確率」を付けていきます。「当選は間違いない」という人は100%、「五分五分」の人は50%、というように。その結果の積み上げが獲得議席数の「推計値」になるのです。

当選確率を付けるためには、候補や政党に応じて表れる調査の「くせ」を把握しなければなりません。これまでの選挙結果と出口調査を読み込み、出口調査が高く出る傾向があるか、低く出る傾向があるかなどを調べます。新顔候補の場合は、支持基盤などがいた過去の候補を当てはめたりして推測します。

第3段階として、推計値をもとに、見出しや原稿の表現を社内で検討し、報じます。

——全選挙区を一つ一つ、堀江さんは見ているのですか。

そうですね。私が全選挙区を見て、当選確率を付けていきます。

——31日の投票日はどのようなスケジュールで作業を進めたのですか。

午前7時から出口調査が一斉に始まります。全国のデータを1、2時間おきにダウンロードして、その都度、読み込みます。

投票が終わる午後8時に出口調査の結果を報じなければならぬので、午後7時ぐらいには最終方針を決めなければなりません。その2、3時間前からいくつもの推計値が頭の中を回っています。緊張感が続く分刻みの作業です。

——今回の衆院選は特徴がありましたか。

ワンイシューのような選挙でなく、熱気の盛り上がり欠け、風を読みにくかったですね。投票率が大きく上がると結果を読みにくくなります。投票率は高いに越したことはないのですが、投票率が低水準だったことは私の立場では判断しやすかったと言えます。

投票結果と出口調査の結果は毎回、ずれます。どちらの方向にずれるかの評価を誤ると、予測は大きく変わってしまいます。

まずはデータをしっかり分析する。それが自分の見立てと違う結果となったら、思い込みはさっさと捨てる。とにかくデータに向き合うことが大切だと改めて感じています。

◇

ほりえ・ひろし 1986年、朝日新聞社に入社。社会部記者、世論調査部長などを経て2016年から現職。約25年間にわたって選挙報道や世論調査に携わってきた。

直前まで大敗予想の自民党、なぜ絶対安定多数を確保できたか 野党共闘でも自民党を崩しきれなかった理由

JBpress2021.11.1（月）紀尾井 啓孟



投票日の31日、自民党本部の開票センターでメディアの取材に応じる岸田文雄総裁(写真:代表撮影/AP/アフロ)

自民党は10月31日投票の開票の衆院選で絶対安定多数の261議席を獲得した。この結果を予測していたメディアや有識者、永田町関係者は少なかった。なぜなら報道各社の情勢調査や当日の出口調査で、自民党の苦戦を伝える数字が出ていたからだ。

自民党幹部でさえ情勢をかなり悲観していた。例えば、投票日の31日昼時点で、自民党有力筋でさえも「過半数割れの可能性がある」との見方を示していた。もっと言えば同日午後8時過ぎの段階でも、フジテレビは単独過半数割れとの見通しを報じていたほか、NHKも単独過半数は「ぎりぎり」と繰り返していた。驚愕の「自民惨敗」を示す出口調査

10月31日午後、主要報道機関の出口調査が永田町に一斉に出まわった。数字は中間報告、途中経過に過ぎなかったが、自民党が過半数の233に達しないという予測が次々に出てきた。報道機関が出口調査の詳細を公表していない以上、あくまで推測でしかないが、自民党が絶対安定多数を取る兆候は数字からは読み取れなかったようだ。自民党有力筋も当然、それらの情報をつかんでおり、自民党惨敗を感じさせる材料だらけだった。

31日夕、千葉県のある自民候補者の陣営幹部は複数の報道関係者に問い合わせを行い、「このままでは危ない」と語り、有力支援者らに投票に行ったかどうかを確認する電話を慌てて入れ始めた。投票日当日の選挙運動、特定候補への応援は禁じられているが、投票を呼びかけること自体は推奨行動だ。支持者を固めきり、投票に行ってもらわなければ接戦では勝てない。だから最後の5分まで、投票に行ってもらおうよう呼びかける。油断して投票しない人も中にはいる——。長年政権を維持してきた自民党は、投票日当日も手を抜かない。

一般的に低投票率の方が与党に有利とされ、今回もそのセオリー通りの結果となったが、選挙現場ではやや様相は異なる。「自民党に入れるべき支持者が漏れなく投票に行くように積極的に働きかけている」のが実態だ。敗北への危機感と焦りが、ぎりぎりまで票を積み上げる努力に結びつく。結果的に、この陣営幹部が推す候補者は接戦を制した。筆者には「本当に危なかった」と明かした。

集中的で無駄のない遊説作戦

「150選挙区好調」「80選挙区で苦戦」「50選挙区で接戦」・・・。

10月25日夜、自民党の選対会議での情勢分析結果だ。複数の関係者によると、会議の場は重苦しい雰囲気にも包まれていたという。接戦の50選挙区のうち半分を制しても175議席。この時点では比例代表で自民党は60~65議席といわれていたため、過半数割れの可能性は否定できなかった。自民党は明らかに不利な状況にあり、惨敗の「恐怖」が党内に広がった。

選挙に妙案はないが、自民党は終盤に向けて緻密な遊説日程を組み始めた。接戦区に岸田文雄首相や菅義偉前首相、安倍晋三元首相を優先的に投入する作戦を展開したのだ。これは菅氏の街頭での反応が非常に良いことも踏まえた判断だったという。例えば、

茨城6区には終盤だけでも、岸田、菅、安倍の3氏が日替わりで現地入りしている。

30日の選挙戦最終日の党幹部遊説は、自民党の粘りを象徴していた。埼玉、東京、神奈川の接戦区に岸田氏、菅氏、麻生太郎副総裁、河野太郎広報本部長らを集中投入し、選挙区での勝利につなげている。神奈川7区には岸田氏と麻生氏、東京23区や埼玉15区には岸田氏と菅氏、といった具合だ。いずれの選挙区も事前の情勢調査や出口調査で劣勢といわれていたところばかりで、極めて計画的だ。



選挙戦最終日の10月30日、神奈川14区

の応援に入り、候補者の赤間二郎氏と手を取り合って聴衆に向かってガッツポーズを決める岸田文雄総裁(写真:つのだよしお/アフロ)

首相並びに首相経験者の応援は、圧倒的知名度はもちろん、陣営の士気を高める意味で絶大な効果がある。岸田氏自身、覇気や闘争心を前面に出すタイプではなく、安倍元首相のような盛り上がりを出すことはできないが、現職総理の応援に勝るテコ入れはない。終盤の自民党の遊説日程には無駄がなかった。接戦区、勝てそうなところのみを選んでいく。残念ながら、立憲民主党の幹部遊説日程を見る限り、そこまでの計算と計画は感じられなかった。



こちらも選挙戦最終日の10月30日、横浜

に応援に入った立憲民主党の枝野幸男代表(中央)。左の篠原豪氏は見事に神奈川1区で当選を果たしたが、右の岡本英子氏は菅義偉前首相との一騎打ちとなった神奈川2区で落選、比例復活も叶わなかった(写真:つのだよしお/アフロ)

投票翌日に共同通信が報じたところによれば、公示日から選挙戦最終日までには岸田氏が応援に入った小選挙区は68で、うち36選挙区で勝利したという。「勝率」は5割を超える。それに対して立憲の枝野幸男代表の方は、51選挙区に応援に入り、勝利したのは15選挙区。勝率は3割を下回る。

両党首とも応援に入った26の選挙区で比較すると、選挙区で勝ったのは自民党が15人で、立憲民主党が9人。比例復活したのは自民9人、立憲8人というからいずれも接戦だった。

自民党が接戦区を数多く制することが出来た大きな要因は、やはり経験豊富な選対の緻密な戦略によるところが大きいと言えるだろう。

岸田首相は「3A」から脱却、菅前首相は復権へ

さて261議席獲得で、自民党内はひとまず安泰のようにみえるが、小選挙区で落選した甘利明幹事長が辞任の意向を示しており、党内に動揺が広がっている。岸田首相は安倍氏、麻生氏、甘利氏のいわゆる「3A」に配慮した党運営を意識してきたが、甘利氏の求心力の低下に伴い、自らのカラーを出しやすくなるだろう

う。

一方、9月の総裁選で「3A」に対抗した小泉進次郎前環境相、石破茂元幹事長、河野氏のいわゆる「小石河」は圧倒的な得票で当選した。来年の参院選に向け、さらには「ポスト岸田」を念頭に置いた動きを強めていくはずだ。

「小石河」サイドには、菅前首相が不気味に控えている。菅前首相は午後8時の投票終了直後に当選確実を出し（ゼロ当）、2カ月前の国民的不人気が嘘に思えるような強さを見せた。街頭では「1日100万回接種の体制をつくる、あえて高めの数字を公言した。そこから大変でしたが」と笑いを取る余裕もあった。首相時代には考えられないハッスルぶりは、復権への意欲満々と受け取っていいだろう。

維新の将来性と立民の絶望

日本維新の会の大躍進がニュースになっているが、2012年に57議席を獲得しており、ようやく初期ブーム時の水準に近づいたという見方が正しい。とはいえ、第3極の躍進は自民党、立憲民主党の両大政党から見ると脅威である。

小選挙区比例代表並立制は1996年の総選挙から数えて9回目となった。理論的には大政党に収れんしていくとされているが、日本政治においてはそうはなっていない。大政党制を提唱してきた野党の実力者、小沢一郎氏が小選挙区で落選したことがすべてを物語っている。日本の有権者は、25年を経ても多党制志向が強い。

立憲民主党にとっては厳しい結果となった。候補者個人の方で勝利しているケースが多く、党としての勢いは皆無に近いといってもいいだろう。岸田政権が中道寄りで一定の支持を得ている以上、立民は立ち位置を整理しなければ来年の参院選も苦しくなる。立民は絶望的ではないか。

それに対して、第三党となった日本維新の会は、保守・中道層が求める自民党に代わる票の受け皿になる可能性が高まってきた。

まず中道に寄せてきた自民と明確な中道路線を取る維新は政策的には十分組める。維新の連立政権入りは政策的にはすぐにも可能だ。ただ、維新は自民党との連立を頑なに否定してきた歴史を持つため、なかなか難しい。とはいえ、国会での存在感が増し、当面維新がキャスティングボートを握ることになった。そして何より注目すべきは新鮮さを維持している点かも知れない。維新は松井一郎大阪市長が代表選への不出馬を表明し、維新人気を支えてきた吉村洋文大阪府知事も代表選への出馬を否定した。維新は新陳代謝を継続している点で将来性がある。

無風の衆院選で唯一光を見せた日本維新の会、自民党の右側にいる野党が必要だ

DIAMONDonline 上久保誠人：立命館大学政策科学部教授知
2021.11.2 4:35A



10月31日、衆議院議員総選挙が投票された。自民党は、改選前から15議席減らしたが、単独過半数を維持し、自公連立政権

は継続することとなった。一方、「野党共闘」は共闘の効果はほとんどなく、改選前より議席を減らすという失敗に終わった。今回の選挙の特徴は、どの党にも「風」が吹かなかったこと。しかし、わかったことは自民党の底力、そして日本維新の会の可能性だ。（立命館大学政策科学部教授 上久保誠人）

チャンス逃した野党、自民党は無風の選挙で強さ発揮

今回の総選挙は、野党共闘にとって千載一遇の好機となるはずだった。

「新型コロナ対策」が評価されなかったり、東京五輪・パラリンピックの開催が批判されたり（本連載第274回）で、菅義偉・前政権の支持率は急落し、自民党は補選・首長選で連敗していた（第284回）。

しかし、自民党は総裁選を行い、「疑似政権交代」と呼ばれる、さまざまな候補者による多様な政策論争を展開して、支持率を回復させた。そして、岸田文雄氏を「選挙の顔」である総理・総裁に選んだ（第286回）。

岸田首相は、選挙戦に入ると、安全保障・経済安全保障関連を除けば、次々と政策志向を「左旋回」させた（第287回）。アベノミクスで広がったとされる格差を是正し、個人レベルに利益を再配分する「新しい資本主義」などを打ち出した。

それは、野党との政策の「違い」を明確にするのではなく、野党の政策にかぶせて、野党の存在を消してしまうという、自民党の伝統的な戦い方を踏襲したものだ。

私は、海外メディアの取材で、「自民党とは、英国の二大政党『保守党』と『労働党』を合わせた特徴を持つ政党だ」と説明した（毎日新聞『英メディア、「自民党支配」に着目 岸田氏の人柄など分析』）。

自民党は、保守政党とされながら、社会民主主義的な政策を次々と実現してきた、世界に類を見ない「包括政党（キャッチ・オール・パーティー）」だ。古くは、1960年代の国民皆保険・年金制度、70年代の環境政策、福祉政策、近年では教育無償化、全方位社会保障など、他の民主主義国ならば、保守政党から社会民主主義政党（労働党）に政権交代した際に実現した政策を、政権交代せず実現した。野党の政策アイデアを奪い予算を付けて実現することで、支持を拡大し長期政権を築いてきたのだ。

その強さは、「世界最強の自由民主主義政党」と言っても過言ではない（第218回）。政党の真の強さとは、「風が吹かないとき」にどれくらい踏みとどまれるかで決まる。自民党は議席を減らしたものの、自民党らしさを発揮することで、その強さを示したのではないだろうか。

民主党政権の失敗を覚えている国民、「野党共闘」は練り直しを一方、「野党共闘」が千載一遇の政権交代の好機を逃したのも、「自民党の底力」だったといえる。

立憲民主党や共産党などの野党は、数合わせの「共闘」に総選挙ギリギリまで必死だった。そのため、政党として最も大事なことである「政策」の立案を「市民連合」なる外部の組織に丸投げすることになってしまった（第287回・p2）。

これも、自民党の強さに屈したことを示している。前述の通り、野党は「政策」で自民党と違いを出すことができない。だから、とにかく共闘して小選挙区の候補者を1人に絞り、「反自民」を打ち出して闘うしかなくなってしまうのだ。

また、野党共闘の苦しいところは、政策をめぐって内部分裂し、混乱の果てに崩壊した民主党政権のことを、国民がしっかり覚えていることだ（第 196 回）。「寄り合い所帯」では政権担当はできないという、国民の不信感が払拭（ふっしょく）されない以上、野党共闘が政権交代を実現するような勢いを得ることはできない。別の戦略を考える必要がある。

今後の野党のあり方を考えるために、れいわ新選組と日本維新の会の総選挙の結果について考えてみたい。

「れいわニューディール」によって支持層が狭まった

れいわ新選組は、今回比例で 3 議席獲得した。参議院で 2 議席あるが、2019 年 4 月の結党から 2 年 6 カ月、2 度の選挙を経て獲得議席は衆参でわずか 5 議席だ。山本太郎代表がよくも悪くも目立っているが、正直「泡沫政党」という存在でしかない。

れいわ新選組が党勢を拡大できないのは、山本代表の「政界サバイバル術」の結果だ。山本代表は、自民党との違いをはっきりとさせて、存在感を示す戦略を取ったと考える。

ところが、自民党が「保守」のイメージとは裏腹に、安倍晋三政権以降、政策的に左旋回してきた。前原誠司氏が民進党代表時代に打ち出した消費増税による教育無償化を中心とする「All for All」という政策を、安倍首相は奪い、2017 年の総選挙で公約として野党を粉砕した（第 169 回・p3）。

だから、山本代表は、自民党に絶対奪われない左の端まで、政策をシフトさせた。それが「消費税廃止」などの「れいわニューディール」という公約だ。

それは、山本太郎という政治家個人を政界でサバイバルさせるには有効だった。一方で、れいわ新選組を泡沫政党にとどめることになってしまった。

「れいわニューディール」を現実的な政策だと感じる人は、日本の「サイレントマジョリティー」である中道層には皆無だからだ。極左に位置する数パーセントの人には熱狂的に支持されても、それ以上の支持の広がりやを自ら捨てることになってしまった。これは、今後の野党のあり方に示唆を与えるものだ。

躍進の日本維新の会に、野党の方向性のヒントがある

逆に、今回、最も躍進した野党は日本維新の会だ。吉村洋文党副代表（大阪府知事）が、コロナ対策で奮闘し、評価を高めていた（第 240 回）。そして、吉村知事の人気を追い風に、大阪府を中心に支持を集めた。合計で改選前の約 4 倍の 41 議席を獲得したのは驚きだ。

今回の日本維新の会の躍進にこそ、野党が進む方向性のヒントがある。コロナ禍で明らかになった、現場の状況の柔軟かつ迅速に対応するには、地方自治体が前面に出るほうが良いということだ。

例えば、吉村知事は大阪市長時代に、大阪市の待機児童を激減させることに成功した（吉村大阪市長「異次元の保育所整備で、待機児童数過去最低の 37 人になりました」定例会見 2018.5.10）。福祉・社会保障などさまざまな政策課題で、自民党政権が中央集権で全国一律に解決しようとするよりも、よりの確な対応ができることを示したといえる。

今後は、松井一郎代表が言う「大阪の改革の経験を全国へ」の実行が重要になる。大阪以外の地域に支持を広げていくことだ。まず、「地域政党」とあるという原点を思い出し、全国の地方自

治体の首長の座を取り、地方議員の数を増やしていくことに徹底的に取り組むことだ。そのためには、東京の「都民ファースト」など、他の地域政党と、いろいろな過去の経緯を超えて、大合流を目指すべきだ。

また、元々「希望の党」という地域主権を目指した政党を源流とする「国民民主党」も、基本的な政策志向は維新の会と変わらない。維新の会と合流すべきだと思う。

維新の会は、自公連立政権に加わる可能性が取り沙汰されている。短期的には、それも悪くない。政権与党の経験で得られるものは大きいからだ。

しかし、自民党に埋没してはいけない。中央集権の自民党とはまったく違う、地方主権の国家観を練り上げていくことだ（第 209 回・p3）。重要なのは、野党共闘のように自民党の左に位置するのではなく、自民党よりも右側に位置する野党となることだ（第 185 回）。

これからは自民党の右側に位置する野党が必要

繰り返すが、自民党は、安全保障政策を除けば、政策的に左旋回している。特に、コロナ禍で一律 10 万円の特別給付金を出して以降、財政規律のタガが完全に外れてしまっている（第 239 回・p3）。これに野党が対抗して、さらに左に寄ってしまうと、与野党間で異次元のバラマキ合戦が始まってしまう。

それよりも、自民党の右側に位置する野党が必要ではないか。社会政策は、中央集権の一律バラマキではなく地方主導的確な現場対応をする。多様性、女性の社会進出、デジタル化、経済安全保障などは「なんでも反対」でなく、「自民党は改革が手ぬるいから、もっとスピード感を持って改革を進めよ」と批判する野党が必要だ。

今後の自民党、最大の懸念は？

最後に、総選挙後の政治情勢について考えておきたい。自民党は議席を減らしたものの、今回躍進した維新の会の協力を得られれば、安定した政権運営は可能に見える。

ただ、支持率の浮き沈みに最も直結する政治課題は「新型コロナ対策」だろう。



本連載の著者、上久保誠人氏の単著本が発売されています。『逆説の地政学：「常識」と「非常識」が逆転した国際政治を英国が真ん中の世界地図で読み解く』（晃洋書房）

今冬襲来が予想される新型コロナの「第 6 波」への対応を岸田政権が誤り、支持率急落したら、参院選前に「岸田おろし」の動きが出てくる懸念がある。またしても、病床が十分に確保できず、医療崩壊の危機に陥り、緊急事態宣言が発令される事態になったら、国民の岸田政権に対する不満が爆発する。コロナ対策は、今からでも万全を期すべく、総選挙後、すぐに動き出すべきである。

一方、岸田政権にとって、優先順位が高い政策は、「経済安全保障」だろう。米中の覇権争いが激化する日本はどう行動するかは判断は難しいが、国益に関わり、絶対に避けることができない

課題だ。

しかし、何よりもこれらにしっかりと取り組むには、岸田政権が支持率の浮き沈みに振り回されない、安定した状態を維持する必要がある。

そこで焦点は、甘利明幹事長が、小選挙区で落選し、幹事長職の辞任を表明したことだ。その後任が誰になるかが重要だ。

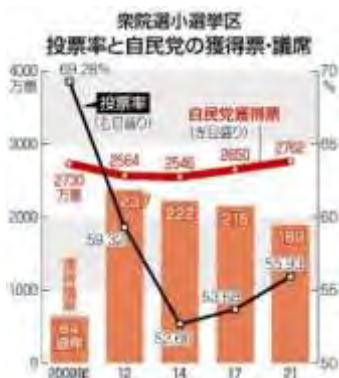
岸田政権の問題は、党内基盤の脆弱さだ(第286回)。党役員、主要閣僚に岸田派議員が起用されていない「岸田派外し」で、いざというとき、体を張って岸田首相を守ろうという政治家が周囲にいない。そのため、支持率の浮き沈みが即、政権の命脈に関わる不安定な状況になってしまっている。

この状況を改善できるかが重要だ。

投票率の低迷は自民有利の傾向 獲得票数は大敗した 2009 年と同程度

東京新聞 2021 年 11 月 1 日 20 時 28 分

衆院選の小選挙区(定数 289)では、自民党が追加公認の無所属を含め計 189 議席を獲得した。2017 年の前回衆院選から 26 議席減らしてもなお全体の 65%を占める。小選挙区全体での獲得票数は 2762 万票で、同党が下野した 09 年衆院選とほぼ同じ。一方で投票率は、政権復帰を果たした 12 年衆院選以降、低迷している。近年の同党の強さは、獲得票数よりも投票率と連動する傾向がある。



09 年衆院選は、政権交代に注目が集まったことで投票率が 69%台と、小選挙区制導入後で過去最高だった。小選挙区で自民党は 64 議席しか得られず、政権を失った。

12 年衆院選は、小選挙区で全体の 79%に当たる 237 議席を得たにもかかわらず、獲得票は計 2564 万票と、09 年の 2730 万票から大幅に減らした。投票率は 09 年から約 10 ポイント急落した。

14 年衆院選以降、投票率は今回も含め過去最低水準が続く中、自民党の獲得票は 2500 万票台半ばから 2700 万票台半ばで推移している。議席数は 17 年まで 7 割台を維持。今回も全体の 3 分の 2 近い議席を得て、自民党と同様に議席を減らした立憲民主党など他党の追従を許さなかった。

小選挙区での自民党は、全有権者の 4 分の 1 程度の「固定票」にずっと支えられているのは間違いない。ただ、その票数が議席数に反映するとは言えない。むしろ議席数は投票率が低下すると増え、高まると減る関係にある。

今回も、投票率が 09 年のように高水準であれば、自民党には向かい風、野党側には追い風となり、自民党が単独過半数を確保

し続ける構図が崩れた可能性もある。(関口克己)

「#枝野辞めるな」トレンド入り 投稿 2 万件超、皮肉や責任論も

東京新聞 2021 年 11 月 2 日 21 時 02 分 (共同通信)



執行役員会であいさつする立憲民主党の枝野代表。

衆院選の惨敗を踏まえ、辞任する意向を表明した=2日午後、国会

立憲民主党の枝野幸男代表が2日、敗北した衆院選の責任を取って辞意を表明したことを受け、ツイッター上で「#枝野辞めるな」がトレンド入りした。同日夜には2万件以上投稿され、辞任に反対する声が目立った。

衆院選に関して「共闘野党の得票数は前回衆院選より増えていて、辞任する必要なんて全くない」「野党共闘で掲げた政策はすばらしい。キャリアがある枝野幸男さんが必要だ」などと評価。官房長官時代に東日本大震災の対応に当たったことから「大震災の時の『枝野寝ろ』と言われた働く姿は忘れない」とする意見もあった。

一方で皮肉や「まずは責任を取らない」との見方も出た。

「#枝野辞めるな」辞意表明受け、Twitter のトレンド 1 位に

東京新聞 2021 年 11 月 2 日 18 時 38 分



枝野幸男代表

立憲民主党の枝野幸男代表が2日、衆院選の不振を踏まえ、辞任する意向を表明したことに、ツイッターでは「#枝野辞めるな」の投稿が相次ぎ、日本のトレンドの1位になった。2日午後4時15分時点のツイート数は9600件を超え、枝野代表の辞意を伝える「辞意表明」のツイート数(9100件余り)を上回っている。(デジタル編集部)

「#枝野辞めるな」のハッシュタグをつけた書き込みでは、「東京は議席増やしている。8区、9区でやったことをどこでもやりやいいだけだ。なにを迷走している」と衆院選の戦いに評価も。

また「市民と野党の共闘路線は間違っていないと思います。より深く、より広くしていけばいいだけ」との指摘や、「どうしても枝野が辞めるなら、再度代表戦に立ってほしい。だれかほかの人が代表になったら、せつかく始まったばかりの野党共闘が潰される予感しかない」と野党共闘の行方を心配する声もあった。



ツイッターのトレンド

これに対し「枝野んに代表辞められちゃうと、次の参院選で与党が勝てなくなるから、そのまま居座ってもらった方がええのよ、残念だなあ」との与党の支持者とみられる人のツイートもあった。

一方、枝野氏は辞意表明後にツイッターを更新。「多くの皆さんから、様々なご意見や激励いただき、ありがとうございます」と感謝の言葉をつづったほか、「この間のご支援にお礼申し上げます。立場は変わっても、2017年10月2日の所信、志に何の変わりもありませんので、引き続きのご指導とご支援をお願いいたします」と決意を示した。

立憲民主党、年内に代表選 枝野代表の辞任表明受け 東京新聞 2021年11月3日 00時23分 (共同通信)



執行役員会であいさつする立憲

民主党の枝野代表（奥左）。敗北した衆院選の責任を取り、辞任する意向を表明した＝2日午後、国会

立憲民主党の枝野幸男代表は2日の執行役員会で、敗北した衆院選の責任を取り辞任する意向を表明した。「新代表の下、参院選、次の政権選択選挙に向かっていかなければならない」と述べ、陳謝した。国会議員に加え、党員らが投票に参加する代表選を12月までに実施し、執行部を刷新する。小川淳也元総務政務官が立候補に意欲を示している。泉健太政調会長や馬淵澄夫元国土交通相、玄葉光一郎元外相も取り沙汰される。

岸田政権と争った衆院選の投開票日直後に野党第1党の代表辞任が固まった。野党側は早急に態勢の立て直しを迫られる。共産党との野党共闘の在り方が焦点となる。

立民 小川淳也氏 代表選への立候補に意欲「腹は固まっている」 NHK2021年11月2日 16時19分

立憲民主党の枝野代表が辞任する意向を表明したことを受けて、小川淳也氏は高松市で記者団に対し「私なりの決意、腹は固まっている」と述べ、代表選挙への立候補に意欲を示しました。

この中で立憲民主党の小川氏は、枝野代表が辞任する意向を表明したことについて「4年前の大混乱した総選挙の中での立憲民主党の結党、そして合流なども含めたさまざまな躍進や3度にわたる国政選挙など、本当に心から敬意を表し、ご慰労を申し上げます」と述べました。

そのうえで、枝野代表の後任を選ぶ代表選挙について「私なりの決意、腹は固まっている。これから最低でも20人の賛同者を本当に得られるか、丁寧な作業を積み重ね、具体的な見通しを持ったうえで、態度を表明したい」と述べ、立候補に意欲を示しました。

衆院選 18歳と19歳の投票率は43% 前回より2.52ポイント高く

NHK2021年11月2日 22時32分



総務省によりますと、10月31日に投票が行われた衆議院選挙で18歳と19歳の投票率は、速報値で43.01%で、前回から2.52ポイント高くなりました。

衆議院選挙は、全国規模では、前回・4年前の選挙から、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。

総務省は全国4万6466か所の投票区の中から、標準的な投票率を示している188の投票区を抽出し、その投票状況をもとに、18歳と19歳の投票率の速報値を算出しました。

それによりますと、

▽18歳の投票率は51.14%、▽19歳の投票率は35.04%で、▽18歳と19歳の投票率は43.01%で、前回から2.52ポイント高くなりました。

衆議院選挙全体の投票率55.93%に対しては、12.92ポイント下回りました。

政党交付金 自民と立民は減額 維新は1億円余増える見込み NHK 2021年11月2日 21時43分



衆議院選挙の結果を踏まえて見直される政党交付金のことしの交付額について NHK が試算した結果、議席を減らした自民党や立憲民主党が減額となる一方、議席が大幅に増えた日本維新の会は1億円余り増える見込みとなっています。

政党交付金は、毎年1月1日現在で所属している国会議員の数などに応じて金額が決まり、年4回に分けて交付されますが、国政選挙があった場合には算定直すことになっています。

今回の衆議院選挙の結果を踏まえて、NHK がことし最後となる来月の交付額を算出し、ことし1年の総額を試算したところ、▽選挙前から議席を減らした自民党は、当初の予定額から7500万円減って169億4600万円となりました。

そして、

▽立憲民主党は400万円減って68億8400万円、
▽公明党は200万円増えて30億800万円となりました。

これに対し、

▽選挙前の4倍近い議席を獲得した日本維新の会は、1億500万円増えて19億2200万円となりました。

このほか、

▽選挙前より議席を増やしたものの得票数が減った国民民主党は、5000万円減って23億4900万円、

▽れいわ新選組は2100万円増えて1億8100万円、

▽社民党は200万円減って3億900万円、

▽「NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で」は、300万円増えて1億7000万円になります。

一方、

▽共産党は、政党交付金の制度に反対して、政党交付金を受けていません。

なお、試算は選挙後の追加公認などを反映していないため、実際に交付される額とは異なる可能性があります。

衆院選 野党一本化候補 約6割の選挙区で敗れる

NHK2021年11月1日 17時17分



今回の衆議院選挙で、立憲民主党や共産党など連携する野党は、与党側と1対1で対決する構図を作るため213の選挙区で候補者を一本化しましたが、このうちおよそ6割の選挙区で一本化候補は敗れました。

今回の衆議院選挙で、立憲民主党、共産党、国民民主党、社民党、れいわ新選組の連携する野党は、与党側と1対1で対決する構図を作るため、289ある小選挙区のうち213の選挙区で候補者を一本化しました。

このうち一本化候補が勝利したのは、東京8区や神奈川13区など3割に満たない59の選挙区にとどまりました。

与党候補は自民党が追加で公認した無所属候補が勝利した東京15区と奈良3区を含め、およそ65%にあたる138の選挙区で議席を獲得しました。

残る16の選挙区のうち、大阪や兵庫の10の選挙区では日本維新の会の候補が、また、静岡5区や熊本2区など6つの選挙区では無所属候補が勝利しました。

衆院選 当選した465人のうち女性は45人 前回より2人少なく

2021年11月1日 17時09分 2021 衆院選

今回の衆議院選挙で当選した465人のうち女性は45人でした。前回の衆議院選挙の時より2人少なくなりました。

今回の衆議院選挙では、小選挙区と比例代表、465議席をめぐる1051人が争いました。

当選した465人のうち女性は9.7%にあたる45人で、前回・4年前の衆議院選挙の時より2人少なくなりました。

選挙前の9月の時点で、女性が占める割合は、10.2%でしたので、わずかに低くなりました。

政党別では、

- ▼自民党が20人、
- ▼立憲民主党が13人、
- ▼公明党が4人、
- ▼日本維新の会が4人、
- ▼国民民主党が1人、
- ▼共産党が2人、
- ▼れいわ新選組が1人でした。

衆院選 経済団体と労働組合の反応は

NHK2021年11月1日 16時33分



衆議院選挙の結果について、経済団体と労働組合の反応です。経団連 十倉会長「内外に課題山積 歓迎したい」



衆議院選挙の結果を受けて経団連の十倉会長は記者団の取材に応じ、「自民党が単独で絶対安定多数となる議席を確保し、強力で安定的な政治体制が維持された。内外に課題が山積しているので歓迎したい」と述べました。

そのうえで社会経済活動の正常化に向けては「日本はグローバル経済の中で生きているので、水際を閉ざすべきではない。安全を確保しながら徐々に段階を踏んで改善してほしい」と述べ、政府に対して海外とのビジネス往来の緩和など必要な対応を取るよう、改めて提言を示す考えを示しました。

また、岸田内閣が「新しい資本主義」を実現するため経済界に対して賃上げを求めていることについては、「非常に苦しい産業もあれば、海外の立ち上がりに助けられて前年以上に利益を出しているところもある。一律での賃上げは時代に合わない」と述べました。

日商 三村会頭「コロナ後を見据えた国家戦略の策定を」



日本商工会議所の三村会頭は「自民党が単独で絶対安定多数を獲得できたことは、さまざまな課題はありながらもコロナ禍という未曾有の難局で果たしてきた安定的な国政運営のかじ取りに対する有権者の評価と新たな成長に向けた期待の表れだと受け止めている」としています。

そのうえで「今後の政策運営においては、まずは喫緊の課題である足元のコロナ対策と社会経済活動をより高い次元で両立できる出口戦略のプロセスを、手段と時間軸を明確にしつつ迅速かつ果敢に進めてほしい。また、経済活動が正常化に向けて徐々に動き始めながらも依然厳しい状況にある今こそ、コロナ後を見据えた国家戦略の策定が必要だ。とりわけ中小企業の成長力強化と地域経済との好循環には、これまで以上に強い意志で臨んでほしい」などとするコメントを発表しました。

連合 芳野会長「政権批判票の受け皿にならず非常に残念」



一方、連合の芳野会長は記者会見で「政権批判票の受け皿にならなかったのは非常に残念だ。立憲民主党が共産党などと共闘したことで、連合の組合員の票が行き場を失ってしまったのではないかと考えており、総括の中で検証していきたい」と述べました。また、1日の枝野代表との会談内容について「枝野氏からは、協力に対するお礼があったのに対し、こちらからは共産党との連携をめぐる地域で混乱した部分があったことを指摘した。党として議席を減らしているの、しっかりと総括をしてほしいとお願いした」と述べました。

衆院選 経団連 十倉会長「安定した政治を維持 大いに歓迎」

NHK2021年11月1日 2時33分



衆議院選挙の結果について経団連の十倉会長は、「自民党が安定多数を獲得し、公明党を含め強力かつ安定した政治の体制が維持されたことを大いに歓迎する。有権者が岸田政権の政策を高く評価し、ポストコロナの新しい時代に向けたわが国の力強い再生をリードしてほしいという期待の表れといえる」としています。そのうえで、「目下の最重要課題は効果的な感染症対策により新型コロナウイルス感染症を抑え込みつつ、ウィズコロナにおける社会経済活動の活性化の加速である。同時に2050年カーボンニュートラルの実現とエネルギー政策の再構築、社会全体のデジタルトランスフォーメーション、激動する国際情勢に対応した外交・安全保障政策の遂行など内外に山積する諸課題について、国民の強力な信任を受けた岸田政権には強力なリーダーシップを発揮し、迅速に取り組んでいただきたい」などとするコメントを発表しました。

経済同友会 櫻田代表幹事「中長期的 目線で骨太な政策論議を」

NHK2021年11月1日 2時32分



衆議院選挙の結果について経済同友会の櫻田代表幹事は、「連立与党が過半数を獲得したことによって、岸田総理大臣が掲げてきた『新しい資本主義』の実現に向けた取り組みが継続されることを歓迎する。日本は、長年の停滞から巻き返しを図るラストチャンスに直面している。与党はこの認識に立ち、中長期的な目線の下で骨太な政策論議をリードしていただきたい」としています。そのうえで、「今回の選挙では、政治に対して、継続性とともに関心や多様性、刷新の風を求める国民の見識が示されたように思う。与野党ともにこの結果を真摯に受け止め、今後の国会での論戦や政権運営に臨んでいただきたい。財政・社会保障、気候変動・エネルギー、経済・安全保障など、日本の将来に係る重要課題について、総合的な視野に立って腰を据えた議論を展開していただきたい」などとするコメントを発表しました。

衆院選 一夜明け与野党は

NHK2021年11月1日 17時11分



31日行われた衆議院選挙の結果について、与野党の反応です。

自民 岸田首相「与党で過半数 大変大きなこと」



岸田総理大臣は、1日午前、自民党本部に入る際、記者団に対し「政権選択選挙で与党で過半数を獲得できた。この選挙において、大変大きなことだと思う。これからの政権運営や国会運営にしっかりと生かしていきたい」と述べました。

また、記者団が、甘利幹事長の処遇について質問したのに対し「よく話をする。最後は私が決める」と述べました。

31日の衆議院選挙を受けて、自民党は1日午前、臨時役員会を開きました。

この中で岸田総理大臣は、今回の選挙結果について「新政権発足直後の窮屈な日程の中、党役員や職員に力を尽くしてもらい、与党、そして自民党に大変大きな結果を与えてもらった」と述べました。

そのうえで「選挙で明確な民意を受けたので、訴えた政策や公約をしっかりと実現し、来年の参議院選挙を戦い抜いていきたい」と述べ、公約の実現を通じて、来年の参議院選挙の勝利を目指す考えを強調しました。

自民 松野官房長官「民意受けとめ政権運営」



松野官房長官は午前の記者会見で「衆議院選挙は政権選択選挙であり、自民党・公明党の連立与党で過半数の議席をいただいた中で今般の選挙で国民の皆さまからいただいた声や民意をしっかりと受けとめ今後の政策に生かしていくべく、政権運営に努めていきたい」と述べました。

自民 遠藤選対委員長「絶対安定多数 うれしい」



自民党の遠藤選挙対策委員長は、1日朝、党本部で記者団に対し「正直、絶対安定多数の議席まで単独で取れるとは思っていませんでしたのでうれしい。岸田総理大臣の誠実さや安定感に加え、総裁選挙での議論を通じて、自民党には多様な意見があると多くの国民に知ってもらえたことが勝因だ。当初、野党共闘は与党にとっては厳しいと思っていたが、予想以上に伸びなかった要因を分析したい」と述べました。

一方、甘利幹事長ら、ベテラン議員が小選挙区で敗北したことについて「それぞれの選挙区の事情があり最大の努力をした上での結果なので残念だ」と述べました。

立民 枝野代表 今後の対応「あすの役員会までに示したい」



立憲民主党は定数の過半数を超える240人の候補者を擁立して臨み、政権交代を目指しましたが、結果は選挙前の109議席を下回る96議席にとどまりました。

一夜明けた1日、立憲民主党の枝野代表と福山幹事長は、連合の芳野会長らと会談し、選挙結果を報告しました。

このあと枝野氏は記者団に対し「かなり頑張ったが僅差まで迫ってくれた選挙区が多かった一方、競り勝てずに結果的に議席を減ら

してしまい残念で、申し訳なく思っている」と述べました。そして、みずからの進退を記者団から問われたのに対し「結果が出たばかりなので、何人かと相談し、あすの党の役員会までには何らかの考え方を示したい」と述べました。

立民 福山幹事長「執行部に結果責任」



立憲民主党の福山幹事長は、記者団に対し「議席を減らすことになり、期待にそうができなかったことについて、心からおおびを申し上げたい。私も議席が減るということは、ほとんど考えていなかったのが非常に残念に思うし、何が足りなかったのか分析しなければならない」と述べました。

そして「党の執行部として、選挙結果については責任があると考えている。私自身の対応については腹を決めているが、ここで申し上げることではない。枝野代表など、いろいろな意見を聞いて、どうしていくのか考えていきたい」と述べました。

国民 玉木代表「躍進できた 路線貫く」



国民民主党の玉木代表は、1日、東京都内で記者団に対し「躍進できた。新型コロナで混迷する政治の中で、具体的な解決策を有権者の多くが求め、それに応える公約を提示して選挙戦を展開できたことが、今回の結果を導く要因になった。こうした路線をしっかりと貫いてぶれずに筋を通して戦っていきたい」と述べました。

一方、立憲民主党と共産党のいずれも議席を減らしたことについて『『自民党は嫌だ、でも立憲民主党と共産党も嫌だ』と、有権者が違う受け皿を求めている、それを提供できたところが増えて、そうではないところが減らしている。選挙目的の振り舞いをやめるべきだという国民からのある種の厳しい見方だったと思う」と指摘しました。

また、今後、立憲民主党と合流する可能性を問われたのに対し「今は、まだ全く考えていない」と述べました。

れ新 山本代表「スタートラインに立てた」

れいわ新選組の山本代表は、記者会見で「これで党所属の国会議員は、衆参合わせて5人となり、一人前の国政政党としてスタートラインに立てた。私たちがやるべきことは積極的な財政以外に考えられず徹底的な公助でこの国の人々の生活を支えたい。消費税率の0%も、他党と連携していきながら1ミリでも現実になるようやっていっただけだ」と述べました。

社民 福島党首「参院選に向けた一歩に」



社民党の福島党首は、記者会見で「前回の衆院選よりも党の得票数を増やすことができ、次の参院選に向けた一歩を踏み出すことができた。一方、日本維新の会の躍進で、新自由主義や憲法改正の動きが強まるという危機感を持っている。平和や社会民主主義

という観点からもっと心に届くような動きを社民党としてやっていきたい」と述べました。

衆議院選挙 各党幹部はどう受け止めた？

NHK2021年11月1日 0時19分



衆議院選挙を受けて各党幹部の発言です。岸田首相「結果はしっかり受け入れたい」



岸田総理大臣は、午後9時前、自民党本部で、党の東京都連の関係者にあいさつし「結果はしっかり受け入れたい。結果をもとに、あすから、また日本の政治を、自民党の政治を、そして東京都連を前に進めていきたい」と述べました。

また、フジテレビの開票速報番組で「自民、公明で過半数は確実なのではないかと予想されており、そのとおりであるなら、政権選択選挙において大変貴重な信任をいただいたということになると思う」と述べました。

そのうえで、自民党が選挙前の276議席から減らすことが確実にになっていることについて「内容を分析したうえでしっかり受け止め、今後の取り組みの参考にしなければならない」と述べました。

岸田総理大臣は、NHKの開票速報番組で、閣僚経験者や党役員が選挙区で敗れていることについて「選挙区事情はさまざまなので、一概に原因はこうだということは難しいと思う。ただ、4年間の積み重ねを、それぞれ有権者の皆さんが評価した結果として、ベテランの候補者の敗戦が多く報じられているのだと思う」と述べました。

また、「与党で過半数という大きな目標議席を確保した上で政権運営を考えていく」と述べました。

そのうえで、自民党が選挙前の276議席から減らすことが確実にになっていることについて「政権運営あるいは国会運営にどう影響してくるのかは丁寧に対応を考えていかなければならない」と述べました。

さらに「経済対策を早急にとりまとめたいと思う。その中に込められるべき内容は、選挙中も訴えさせていただいた。これをしっかりと盛り込めるような規模を確保しなければならない。年内に補正予算を成立させたいと思う」と述べました。

岸田総理大臣は、NHKの開票速報番組で「気候変動、地球温暖化の問題は国際的な人類共通の課題であり、日本もしっかり責任を果たさなければならない。ぜひ、気候変動対策の国際会議、COP26に出席したいと思う。また、日米同盟は日本外交の基幹なので、できるだけ早いうちに訪米して、日米首脳会談を実現したい」と述べました。

自民 甘利幹事長「コロナ禍で不満がたまっていた」



自民党の甘利幹事長は、NHKの開票速報番組で、出口調査の結果などを踏まえた獲得議席の見通しについて問われたのに対し「議席数をかなり減らしているが、コロナ禍でいろいろと不安や不満がたまっていて、それが具体的に選挙という形で受け止められたと思う。理解いただき切れなかったところがある」と述べました。

また甘利幹事長は31日午後11時半ごろ、党本部で記者団に対し「単独過半数を超える見込みというのは私どもにとって非常に嬉しいニュースだ。各地で候補者が全力で戦い、友党・公明党の支援も頂き、支援者の皆さん方が全力で取り組んだ結果であり感謝している」と述べました。

そのうえで「全体の数が、私どもが目標とした数にまだ届いていないということは自民党として何をなすべきか、どう短期、中期、長期でやっていくかが届ききれなかったという思いがある」と述べました。

一方、甘利氏は、自身が立候補した神奈川13区で接戦が続いていることについて「幹事長は選挙の責任者であり、自身がどういった状況であれ、全体の成果について責任を負う。自身の結論はまだ出ていないが、すべて終わった時点で、岸田総裁に今後のことはご相談をしたい」と述べました。

自民 高市政調会長「補正予算の編成 一刻も早く」



自民党の高市政務調査会長は、NHKの開票速報番組で「急いで行わなければならないのは、補正予算の編成だ。新型コロナで困っている方を救うものや、傷んだ幅広いサプライチェーンなどを再構築をする取り組みを、業種や地域を限定せずに行うため、予算が付くよう担保したい。一刻も早く編成したい」と述べました。また、高市氏は「どういった方を対象にいくらずつ配るのか、あえて今回の公約では出さなかった。『誰にいくら配ります』と与党が出し始めたら、ばらまき合戦のような選挙になってしまっただけという判断があった。給付の対象については、子育て世帯や非正規雇用の人、学生で困っている人を対象にと書かせてもらった。そこはしっかりと予算編成の段階で自民党の政務調査会でチェックさせてもらう」と述べました。

高市政務調査会長は、ラジオ日本の開票速報番組で、中国の軍事活動の活発化について「日米同盟の中で、しっかりとこの脅威に対抗していくことになるが、日本は日本を自分で守り切る力は持っていないといけない」と指摘しました。

そのうえで、中国が、音速のおよそ5倍の速さで飛行し、迎撃がより難しいとされる「極超音速ミサイル」の発射実験を行ったと報じられたことに関連し「ロシアはもう開発が終わっているが、極超音速兵器で攻撃された場合、日本には防御するすべがなく、大きな被害が出る。その場合の対応力をきっちりとつけていくことは非常に重要だ」と述べました。

高市政務調査会長は、東京エフエムの開票速報番組で、「次に総裁選挙があればもう一度、チャレンジしようと考えているか」と問われたのに対し、「岸田政権が始まったばかりで、大きな声では言えないが頑張りたいと思う。大きな声で言ってしまった。えらいこっちゃ」と述べました。

また、今回の選挙について、女性の総裁だったら結果が違ったのではないかと問われたのに対し、高市氏は「それはわからない」と述べるにとどめました。

自民 福田総務会長「しっかり推移を見守る」



自民党の福田総務会長は、東京エフエムの開票速報番組で「まだ開票は始まったばかりなので、しっかりと推移を見守らなければ何とも言えず、予測してもしかたない段階だ。野党の共闘は選挙戦術としては有効だったのだろう。予測はだいぶ幅があるので、しっかりと推移を見守りたい」と述べました。

また、BS朝日の開票速報番組で「2009年の衆議院選挙は本当に厳しく向かい風どころではなかったが、今回はまだ自民党に対する期待を持ち、本当に変わるのか、自分たちのメッセージが届いているのか厳しく冷静に見られていると思った」と述べました。

自民 梶山幹事長代行「一騎打ちは厳しいところ多い」



自民党の梶山幹事長代行は、BS朝日の開票速報番組で「特に与野党一騎打ちの選挙区は厳しいところが多く、岸田総理大臣が言うとおり『自民・公明両党で過半数』ということで、そのうえで1つでも積み上げられればと思う。全体の議席は減るが、それだけ一騎打ちの選挙区が厳しく、コロナ禍のさまざまな対応への批判もあり説明し切れたかどうかという選挙だったと思う」と述べました。

立民 枝野代表「連携の成果はあった」



立憲民主党の枝野代表は、午後10時すぎにNHKの番組に出演し「かなりの選挙区で激しい大接戦になっているので、期待して見守りたい。自民党に対し一騎打ちの構造を作るとするのが最大野党として目指すべき形ということで、他の野党にも理解してもらい、かなり多くで接戦に持ち込めた。連携の成果はあったと思う」と述べました。

立民 福山幹事長「候補者一本化の動きは一定の支持」



立憲民主党の福山幹事長は、午後9時すぎにNHKの番組に出演し「野党間で協力した選挙区の候補者一本化の動きは、国民に一定の支持をいただけたと思う。まだ最終的な選挙結果が出ていないから軽々には言えないが、接戦で勝ちきって1議席でも増やしたい。東京8区など一本化の成果は着実に出ています」と述べました。

立民 長妻選対委員長代行「批判票の受け皿作れた」



立憲民主党の長妻選挙対策委員長代行は、午後 8 時すぎに NHK の番組に出演し「今回の選挙は、全国で接戦区がかなり多い。東京 8 区でもわが党の候補に当選確実が出たように自民党は強くなく、一騎打ちの構造であれば成果が出る」と期待している。他の野党との選挙協力は、政権批判票の受け皿、土台を作れたと思う」と述べました。

公明 山口代表 維新・国民の連立加入は「難しい」



公明党の山口代表は、テレビ東京の開票速報番組で「岸田総理大臣のカラーで戦った選挙であり、持ち味がどう票にあらわれてくるかを見ていく必要がある」と述べました。

その上で、自民・公明両党の連立政権に日本維新の会や国民民主党が加わる可能性を問われたのに対し「自民・公明両党は、閣僚を出し合った上で、政権合意を結んでいるので、そのレベルに達するのはなかなか難しいのではないかと。自公連立は、長い歴史があり、政策の違いを合意につなげる経験や知恵、あるいは選挙協力が実効性を伴うものにするには非常に大きい要素だ」と指摘しました。

公明 石井幹事長「野党 一本化の影響も」



公明党の石井幹事長は、TBS ラジオの開票速報番組で「公明党は、比較的順調に当選確実が出ていると思うが、与党全体では、厳しい情勢も伝えられているので、今後の結果を見守っていききたい。今回は、野党が候補者を一本化した影響も、やはりあらわれているのではないかと」述べました。

共産 志位委員長「候補者一本化は効果」



共産党の志位委員長は、午後 9 時すぎ党本部で記者会見し「今回の選挙は、野党共闘による政権交代を掲げて戦った。候補者を一本化したことは、明らかに自民党を追い詰める上で効果をあげている。政権交代には至らなかったが、今回の 1 回だけでなく、次の参議院選挙や衆議院選挙でもチャレンジしたい」と述べました。また志位委員長は午後 11 時すぎに NHK の番組に出演し「野党共闘で政権交代をしようと訴えて戦い、これが効果をあげている。都市部などの有力議員を倒すことは一本化がなければできなかった。確かに党の候補者が減ると制約が出てくることは事実だが、それを上回って『みんなで力を合わせていまの政治を変えよう』と真剣に取り組む共産党への期待や評価も広がっていると思う」と述べました。

維新 松井代表「わが党の主張 広がった」



日本維新の会の松井代表は、午後 8 時半ごろ NHK の取材に対し「分配のためには改革が必要だというわが党の主張が広がり、議席を増やすことができそうだと受け止めているが、総じて与党の勝利だ。自民党は前回の選挙で勝ちすぎた分、今回は議席を減らしたのだろう。政府に対しては、今後も是々非々で臨む」と述べました。

松井代表は大阪市内で記者会見し、「皆さんから貴重な負託をいただいた。国会でも裏切ることなく、実績を積み上げるべくきょうからスタートだと思う。心して活動していただきたい」と述べました。

また、「単独で法律を出せる力をいただいたので約束通り、政治家だけが優遇される、議員の身分保障についてさっそく法案を提出し、これを実現すべく、死力を尽くしていきたい」と述べました。

さらに、「われわれは改革、成長の分配を前面に押し出して戦った。結果は自公で議席の過半数ということで岸田内閣への支持が高かったということだと思うが、やはり、日本に構造改革が必要だという訴えに一定数の賛同をいただいたことがわれわれの議席増につながったと思う」と述べました。

松井代表は、党の規約に沿って、衆議院選挙のあとに代表選挙が行われた場合の対応について「立候補しない。党の規約に沿って、執行部を決めてもらいたい」と述べました。

そのうえで、「組織の中に新しい考え方を入れていくことが重要だ。市長としての任期をもって引退することを決めているので自分が手を挙げるのは無責任だ」と述べ、今の任期で代表を退任したいという考えを示しました。

国民 玉木代表「大変意義ある勝利」



国民民主党の玉木代表は、午後 8 時半ごろ、東京都内で記者団に対し「小選挙区に擁立した前議員、全員の当選確実が報じられ、ほっとしているし、本当にうれしく思う。大変意義がある勝利だと思っている。10 代、20 代の若い方に『頑張ってほしい』という声を直接かけてもらい、手応えを感じていた。さらに私たちの考え方や政策をしっかりと広げていきたい」と述べました。

また玉木代表は NHK の開票速報番組で「特に経済政策については、全国から非常に大きな期待を寄せていただいた。われわれの立ち位置や政策への期待というのが広がってきたと実感している」と述べました。

今後の与党との向き合い方を問われたのに対しては「信頼できる政治を取り戻す取り組みは野党として厳しく対応していく。一方で、コロナで経済、社会は傷ついているので積極的に政策を出していきたいし、その点は、与党、野党は関係ない。知恵を絞り、いい政策を実現していきたい」と述べました。

れ新 山本代表「結果待ちたい」



れいわ新選組の山本代表は、午後 8 時すぎに東京都内で記者団に対し「今回の選挙では、おそらく 1 万人を超えるボランティア

の方々が12日間支えてくれた。また日本や世界にいる有権者から寄付をいただき、その額は2億円にのぼった。感謝を伝えたい。このあと、どのような選挙結果になるか待ちたい」と述べました。

社民 福島党首「沖縄や比例で当選 願っている」



社民党の福島党首は、午後10時半すぎに党本部で記者会見し「社民党は『生存のための政権交代』を訴えていたので、政権交代できないことは残念だ。政府の新型コロナ対策に対する怒りは手応えとしては感じていたので、沖縄の小選挙区や、比例代表で候補者が当選するよう心から願っている」と述べました。

N党 立花党首「目標は比例代表の得票率2%」



「NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で」の立花党首は、東京都内で午後8時すぎに記者会見し「獲得が予想される議席がゼロと報道されているが、特段驚くものではない。議席が取れなかったから代表が責任をとるというものではない。厳しいことはわかっており、1議席でも取ったら大金星だ。目標としては比例代表の得票率2%だ」と述べました。

衆院選 海外メディアの反応は

NHK2021年11月1日 10時30分



衆議院選挙の結果について、海外のメディアの反応です。

アメリカのメディアは

アメリカの有力紙、ウォール・ストリート・ジャーナルは31日「自民党が明確な多数派となる議席を獲得した。岸田総理大臣は長期政権を構築し、中国や北朝鮮からの脅威に対処するための強固な基盤を獲得した」と伝えました。

そのうえで「党は勝利したが、閣僚経験者や甘利幹事長が小選挙区で敗北した。野党はいつもより緊密に協力して統一候補を擁立し、自民党を支持しない人たちの票を獲得した」と報じています。またロイター通信は「岸田総理大臣はカリスマ性に欠けるというイメージを払拭（ふっしょく）するのに苦労していたが、今回の選挙の勝利で勇気づけられただろう」と伝えました。

その一方で「自民党は、岸田総理大臣を支えてきた大物議員の甘利幹事長が小選挙区で議席を失ったことに大きな衝撃を受けた」とも報じています。

韓国メディアは

韓国の公共放送KBSテレビは「就任から1か月にも満たない岸田総理大臣が最初の試験を通過したことで、権力基盤を保ちながら国政運営にも弾みをつけた」と伝えています。

また、韓国の通信社 連合ニュースは「新型コロナウイルスの新規感染者数が大きく減少したことで『政府の対応は後手に回って

いた』という批判が落ち着いたことも自民党善戦の背景に挙げられる」と伝えています。

中国メディアは

中国国営の新華社通信は「自民党は単独で過半数の議席を獲得し、国会運営の主導権を握ることになった。選挙前の議席をいくつか野党に奪われたが、これは、岸田総理大臣が新型コロナウイルス対策や経済対策、国家安全保障政策で強い支持を得られなかったのかもしれない」と伝えています。

また、中国共産党系のメディア「環球時報」の電子版は「自民・公明両党が絶対安定多数を獲得し、岸田政権の継続が決まったが、自民党は選挙前の議席を減らしており、政権基盤が揺らいでいることを意味している。野党は来年の参議院選挙を見据えて、岸田政権へ攻勢をかけてくるだろう」と伝えています。

一方、中国共産党の機関紙「人民日報」の海外版は「岸田政権の継続は決まったが、今後、新型コロナウイルス対策がうまく実行できるか、経済政策が効果的か、中国や韓国など近隣諸国との関係にうまく対処できるかどうかはまだ未知数だ」と伝えています。

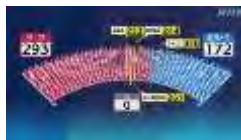
衆院選 全議席決まる 自民「絶対安定多数」維新は第三党に躍進 NHK2021年11月1日 7時18分

衆議院選挙は小選挙区と比例代表を合わせた465議席の配分が決まりました。

自民党は選挙前の276議席から減らしたものの、単独で国会を安定的に運営するためのいわゆる「絶対安定多数」の261議席を確保しました。

立憲民主党は選挙前を下回り100議席を割り込みました。

一方、日本維新の会は選挙前の4倍近い議席を獲得し第三党に躍進しました。



衆議院選挙は小選挙区と比例代表をあわせた465議席の配分が決まりました。

▽自民党は追加公認した2人を含め、小選挙区で189議席、比例代表で72議席の合わせて261議席を獲得しました。

▽立憲民主党は小選挙区で57議席、比例代表で39議席の合わせて96議席。

▽公明党は小選挙区で9議席、比例代表で23議席の合わせて32議席を獲得しました。

▽共産党は小選挙区で1議席、比例代表で9議席の合わせて10議席。

▽日本維新の会は小選挙区で16議席、比例代表で25議席の合わせて41議席。

▽国民民主党は小選挙区で6議席、比例代表で5議席の合わせて11議席を獲得しました。

▽れいわ新選組は比例代表で3議席。

▽社民党は小選挙区で1議席を獲得し、

▽無所属は小選挙区で10人が当選しました。

これによって、自民党は選挙前の276議席から減らしたものの、衆議院の17の常任委員会すべてで委員長を出したうえで、過半

数の委員を確保できるいわゆる「絶対安定多数」の 261 議席を確保しました。

また、公明党は選挙前から 3 議席増やしました。

岸田総理大臣は、「与党で過半数をとり、政権選択選挙で信任をいただいたことは大変ありがたかった。自民党の単独過半数も国民にお認めいただいた。これからしっかり政権運営、国会運営を行っていききたい」と述べました。

こうした中、甘利幹事長は立候補した神奈川 13 区では議席を失い、比例代表で復活当選しました。現職の自民党の幹事長が小選挙区で敗れるのは初めてです。甘利氏は幹事長を辞任する意向を岸田総理大臣に伝えたのに対し、岸田総理大臣は「預からせてもらいたい」と述べ選挙結果や党内情勢などを踏まえ近く判断する考えを示しました。

一方、野党第 1 党の立憲民主党は選挙前の 109 議席を下回り 100 議席を割り込みました。枝野代表は、「われわれは空中戦で一定の支持を広げたと思うが、自民党は 1 票 1 票積み重ねる足腰が強い。ここを鍛えないと政権にたどりつくことはできないと、改めて痛感している」と述べたほか、党内からは、「完全な敗北だ」として、枝野氏ら執行部の責任を問う声が出ています。

立憲民主党と候補者の一本化を進めた共産党は、選挙前から 2 議席減らしました。

日本維新の会は選挙前の 4 倍近い議席を確保し、自民党、立憲民主党に次ぐ第 3 党に躍進しました。

国民民主党は選挙前から 3 議席増やし、れいわ新選組は 2 議席増やしました。

社民党は比例代表で議席が得られなかったのは初めてです。

比例代表 各党の獲得議席数

定員 176 の比例代表で、各党が獲得した議席数は次の通りです。

▽自民党は前回 4 年前の選挙の 66 議席を上回る 72 議席を獲得しました。

▽立憲民主党は 39 議席を獲得しました。

▽公明党は前回より 2 議席多い 23 議席を獲得しました。

▽共産党は前回から 2 議席少ない 9 議席を獲得しました。

▽日本維新の会は近畿ブロックで自民党よりも多い 10 議席を獲得するなど、前回の 3 倍を超える 25 議席を獲得しました。

▽国民民主党は 5 議席を獲得しました。

▽れいわ新選組は 3 議席を獲得しました。

東海ブロックでも 1 議席を確保できる票を得ましたが、比例名簿に登載された 2 人の候補者が、いずれも重複立候補した小選挙区で有効投票の 10% を得票できなかったことから、名簿から削除され、本来、得るはずだった 1 議席は公明党が獲得しました。

▽社民党と、▽「NHK と裁判してる党弁護士法 72 条違反で」は、いずれも比例代表で議席を獲得できませんでした。

特別国会 10 日召集で野党側と調整する方針 自公が確認

NHK2021 年 11 月 1 日 14 時 28 分



衆議院選挙を受けて自民・公明両党の幹事長らが会談し、総理大臣指名選挙などを行う特別国会を 10 日に召集する方向で野党側と調整する方針を確認しました。

国会内で行われた会談には、自民党の甘利幹事長や公明党の石井幹事長に加え両党の国会対策委員長が出席し、31 日の衆議院選挙を受けて、総理大臣指名選挙などを行う特別国会の日程について協議しました。

この中で自民党の高木国会対策委員長が、松野官房長官から 10 日に特別国会を召集したいという連絡があったと説明し、10 日に召集する方向で野党側と調整する方針を確認しました。

31 日の衆議院選挙では、自民・公明両党で過半数を大きく上回る議席を獲得し、特別国会で岸田総理大臣は第 101 代の総理大臣に指名され、直ちに第 2 次岸田内閣を発足させる運びです。



このあと高木氏は記者団に対し、国会召集に向けて 4 日にも衆議院の各会派の代表者による協議会を開きたいという考えを示したうえで「これまでも議長は与党第一党、副議長は野党第一党となっており、常任委員長のポストも含めて協議会で決めたい」と述べました。

【時系列まとめ】衆議院選挙 開票速報タイムライン 全議席確定

NHK2021 年 11 月 1 日 5 時 13 分

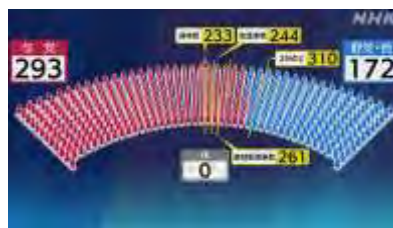
31 日に投票が行われた衆議院選挙は、小選挙区と比例代表を合わせた 465 議席が午前 5 時前にすべて確定しました。

1 日にかけて行われた各地の開票の状況をはじめ、各党の反応などを時系列でまとめました。

4:53 全 465 議席が確定

政党	定員	獲得	注	比例	注
自民	261	189	72	0	0
立憲	96	57	39	0	0
公明	32	9	23	0	0
共産	10	1	9	0	0
維新	41	16	25	0	0
国民	11	6	5	0	0
社民	3	0	3	0	0
無所属	1	1	0	10	10

自民党は 261 議席。立憲民主党は 96 議席。公明党は 32 議席。共産党は 10 議席。日本維新の会は 41 議席。国民民主党は 11 議席。れいわ新選組は 3 議席。社民党は 1 議席。無所属が 10 議席となりました。



比例代表 (定員 176) 各党の獲得議席数



定員 176 の比例代表で、各党が獲得した議席数は次の通りです。
自民党は、前回 4 年前の選挙の 66 議席を上回る 72 議席を獲得しました。

立憲民主党は、39 議席を獲得しました。

公明党は、前回より 2 議席多い 23 議席を獲得しました。

共産党は、前回から 2 議席少ない 9 議席を獲得しました。

日本維新の会は、近畿ブロックで、自民党よりも多い 10 議席を獲得するなど、前回の 3 倍を超える 25 議席を獲得しました。

国民民主党は、5 議席を獲得しました。

れいわ新選組は、3 議席を獲得しました。東海ブロックでも、1 議席を確保できる票を得ましたが、比例名簿に登録された 2 人の候補者が、いずれも重複立候補した小選挙区で有効投票の 10% を得票できなかったことから、名簿から削除され、本来、得るはずだった 1 議席は、公明党が獲得しました。

社民党と「NHK と裁判してる党弁護士法 72 条違反で」はいずれも比例代表で議席を獲得できませんでした。

れ新 比例東海ブロックで“有効票 10%”届かず 1 議席が公明に



れいわ新選組は、比例代表東海ブロックで、1 議席を確保できる票を得ましたが、比例名簿に登録された 2 人の候補者が、いずれも重複立候補した小選挙区で有効投票の 10% を得票できなかったことから、名簿から削除されました。このため、本来れいわ新選組が得るはずだった 1 議席は、公明党が獲得しました。

立民 辻元清美副代表 比例代表でも及ばず落選が確実に



立憲民主党の辻元清美副代表は、小選挙区の大阪 10 区で敗れ、重複立候補した比例代表の近畿ブロックでも惜敗率で及ばず、落選が確実にになりました。辻元氏は 61 歳。平成 8 年に初当選し、これまでに社民党の国会対策委員長や民進党の幹事長代行などを務め、現在は立憲民主党の副代表を務めています。

立民 選挙前勢力を下回ることが確実な情勢



立憲民主党は、選挙前の 109 議席を下回ることが確実な情勢となりました。

自民 石原伸晃元幹事長 比例代表でも及ばず落選が確実に



自民党の石原伸晃元幹事長は、小選挙区の東京 8 区で敗れ、重複立候補した比例代表の東京ブロックでも惜敗率で及ばず、落選が確実にになりました。

石原氏は 64 歳。石原慎太郎元東京都知事の長男で、平成 2 年の衆議院選挙で初当選しました。自民党石原派の会長を務め、これまでに 10 回連続で当選し、党の幹事長や経済再生担当大臣などを歴任しました。

衆院選 推定投票率は 55.93%前後 (NHK まとめ)

今回の衆議院選挙の推定投票率は 55.93%前後になる見込みです。NHK のまとめによりますと、今回の衆議院選挙の推定投票率は、期日前投票を行った 2058 万 4847 人の分も含めて全国で 55.93%前後になる見込みです。前回、平成 29 年の衆議院選挙の最終投票率は戦後 2 番目に低い 53.68%でした。

立民 小沢一郎氏 比例東北ブロックで 18 回目の当選確実に



自民党の幹事長や民主党の代表などを務めた立憲民主党の前議員の小沢一郎氏は、小選挙区の岩手 3 区では議席を確保できませんでしたが、比例代表の東北ブロックで 18 回目の当選を確実にしました。小沢氏は 79 歳。昭和 44 年の衆議院選挙に自民党から立候補して初当選し、これまでの当選回数は、今回の候補者の中で最多となる 17 回でした。

経団連 十倉会長「強力かつ安定した政治体制維持 大いに歓迎」
衆院選の結果について経団連の十倉会長は「自民党が安定多数を獲得し、公明党を含め、強力かつ安定した政治の体制が維持されたことを大いに歓迎する。有権者が岸田政権の政策を高く評価し、ポストコロナの新しい時代に向けたわが国の力強い再生をリードしてほしいという期待の表れといえる」などとするコメントを発表しました。

経済同友会 櫻田代表幹事「新しい資本主義実現へ 継続歓迎」
衆院選の結果について経済同友会の櫻田代表幹事は「連立与党が過半数を獲得したことによって、岸田総理大臣が掲げてきた『新しい資本主義』の実現に向けた取り組みが継続されることを歓迎する。日本は長年の停滞から巻き返しを図るラストチャンスに直面している。与党はこの認識に立ち、中長期的な目線の下で、骨太な政策論議をリードして頂きたい」などとするコメントを発表しました。

1:45 与党 279 議席 野党・他 151 議席 残り 35 議席



立民 中村喜四郎氏 比例北関東ブロックで 15 回目の当選確実に



立憲民主党の中村喜四郎元建設大臣は、小選挙区の茨城 7 区では議席を確保できませんでしたが、比例代表の北関東ブロックで 15 回目の当選を確実にしました。

自民 甘利幹事長 辞任の意向伝える 小選挙区で議席確保できず



自民党の甘利幹事長は、今回の衆議院選挙で、小選挙区で議席を確保できなかったことを受けて幹事長を辞任する意向を固め、岸田総理大臣に伝えました。岸田総理大臣は、選挙結果や党内情勢などを踏まえ辞任を認めるかどうか近く判断することになっています。

自民 塩谷立元文科相 比例東海ブロックで 10 回目の当選確実に



自民党の塩谷立元文科科学大臣は、小選挙区の静岡 8 区では議席を確保できませんでしたが、比例代表の東海ブロックで 10 回目の当選を確実にしました。

公明 山口代表「自公過半数基盤に経済対策でいち早く合意を」
公明党の山口代表は、午前 0 時ごろから党本部で記者会見し「新型コロナウイルスの不安が色濃く残る中での選挙戦であり、克服の具体策を訴えることによって、有権者の納得や理解につながった。自民・公明両党の議席が過半数を超えたことを基盤にして、経済対策についていち早く合意を作り、補正予算に反映をさせて実施に移したい」と述べました。

一方、自民党の甘利幹事長が小選挙区の神奈川 13 区で議席を確保できなかったことについて「残念な結果で本当に悔しい思いだ。今後については自民党の対応を見守りたい」と述べました。

国民 玉木代表「野党が見直すところは見直していくこと重要」
国民民主党の玉木代表は、午前 0 時ごろ東京都内で記者会見し、立憲民主党などとの野党連携について「政策や理念を曲げずに筋を通して訴えていくことも勝利にとっては重要ではないか。今回の選挙で示された民意をすべての野党が分析して見直すところは見直していくことが重要だ」と述べました。

れ新 山本代表「政権交代できなかったのは非常に痛い」
れいわ新選組の山本代表は、午前 0 時半ごろに東京都内で記者会見し「どれくらい議席を獲得できるかは全くわからない。開票が終わるのを朝まで待った上でコメントする場を設けたい」と述べました。

また「今回の野党共闘で政権交代ができなかったのは非常に痛い。今後は消費税を 5%に引き下げるといふ今の条件のまま前進することは無理で、さらに野心的でなければならない。一致するならば他党と一緒に、そうでない場合は自分たちでやる」と述べました。

0:30 すぎ 首相「幹事長続投か」の問いに「話聞いたうえで判断」
岸田総理大臣は、午前 0 時半すぎに自民党本部を出る際、記者団

に対し「与党で過半数を取り、政権選択選挙で信任を頂いたことは大変ありがたかったと思う。加えて自民党の単独過半数も国民にお認めいただいた。ぜひそうした結果を踏まえて、これからしっかりと政権運営、国会運営を行っていきたい」と述べました。一方、甘利幹事長が小選挙区で議席を確保できなかったことについて、記者団が「幹事長を続投させるのか」と質問したのに対しては「ご本人の話を聞いたうえで私が判断する」と述べました。立民 枝野代表「1 票 1 票積み重ねる足腰鍛えないと政権取れない」



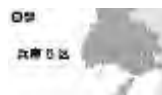
立憲民主党の枝野代表は、午前 0 時前の記者会見で、自民党が単独で衆議院の過半数にあたる議席の獲得が確実な情勢となったことについて「われわれは空中戦で一定の支持を広げたと思うが、自民党は 1 票 1 票積み重ねる足腰が強い。ここを鍛えないと政権にたどり着くことはできないと改めて痛感している」と述べました。

共産 志位委員長「甘利幹事長 小選挙区落選は野党共闘の成果」



共産党の志位委員長は午前 0 時ごろ、党本部で記者会見し「自民党の甘利幹事長が小選挙区で落選したのは、野党共闘の成果だ。自民党が過半数割れに至らなかったのは残念だが、チャレンジを続けようと考えている。揺るがずに野党共闘の道を進む決意に変わりはなく、これしか日本の政治を変える道はない。今回の野党の共通政策と政権合意を土台に次の参議院選挙を戦いたい」と述べました。

維新 兵庫 6 区で当選確実 大阪以外で初の小選挙区の議席



兵庫 6 区で、日本維新の会の元議員、市村浩一郎氏の当選が確実になりました。日本維新の会によりますと平成 26 年に、兵庫 1 区で当時の「維新の党」から立候補して当選したケースはありましたが、「日本維新の会」が大阪以外の都道府県の小選挙区で議席を獲得するのは初めてです。

東京 18 区 立民 菅直人氏の当選確実に



東京 18 区は立憲民主党の前の議員の菅直人氏の当選が確実になりました。

前回 4 年前の選挙では隣接する東京 21 区で希望の党から立候補して当選し、その後、自民党に入党した前議員の長島昭久氏は重複立候補している比例代表東京ブロックの結果を待つこととなります。

自民 単独で「安定多数」244 議席を上回る

自民党は、単独で衆議院でいわゆる「安定多数」となる 244 議

席を上回りました。自民党は、衆議院にある 17 の常任委員会すべてで委員長を出したうえで、野党側と同じ数の委員を確保できる、いわゆる「安定多数」の 244 議席を上回りました。
自民 東京 15 区 柿沢氏 奈良 3 区 田野瀬氏を追加公認



自民党は、今回の衆議院選挙に無所属で立候補して当選した東京 15 区の柿沢未途氏と奈良 3 区の田野瀬太道氏について 31 日づけで追加公認したと発表しました。

自公両党で「絶対安定多数」261 議席に達する

自民 公明両党は、衆議院でいわゆる「絶対安定多数」となる 261 議席に達しました。これまでに自民党は 234 議席、公明党は 27 議席を獲得していて、衆議院にある 17 の常任委員会すべてで委員長を出したうえで、過半数の委員を確保できるいわゆる「絶対安定多数」の 261 議席に達しました。

自民 甘利幹事長が比例代表南関東ブロックで 13 回目の当選確定



自民党の甘利明幹事長は、小選挙区の神奈川 13 区では議席を確保できませんでしたが、比例代表の南関東ブロックで 13 回目の当選を確実にしました。甘利氏は立憲民主党の新人の太栄志氏に及ばなかったものの、重複立候補した比例代表の南関東ブロックでは、自民党の名簿順位 1 位の中で惜敗率が高く、13 回目の当選を確実にしました。

東京 5 区 自民 若宮万博相 小選挙区で議席確保できず



東京 5 区では、自民党の前議員で万博担当大臣の若宮健嗣氏が、小選挙区で議席を獲得できませんでした。小選挙区で議席を獲得できなかった若宮さんは、重複立候補している比例代表東京ブロックの結果を待つことになります。

0:15 自民 甘利幹事長党本部を出る 記者の質問には答えず



自民党の甘利幹事長は、午前 0 時 15 分ごろ党本部を出ました。記者団が「小選挙区で落選が確実にになったことの受け止めを」と質問したのに対し、何も答えませんでした。

0:10 ごろ 自民 単独過半数上回る

自民党は、単独で衆議院の過半数にあたる 233 議席を上回りました。

0:00 与党 257 議席 野党・他 139 議席 残り 69 議席

政党	議席数	議席率	議席差	議席確保
自民	230	16%	42	○
公明	27	4%	13	○
立憲	27	9%	18	○
共産	9	1%	8	○
維新	34	15%	19	○
国民	6	6%	0	○
社民	0	0%	0	○
社連	1	1%	0	○

社民 福島党首「沖縄 2 区の獲得議席は平和の 1 議席」

社民党の福島党首は、午後 11 時半ごろ党本部で記者会見し「政治を大きく変えられなかったことはとても残念だが、沖縄 2 区で社民党の公認候補の議席が取れた。これは普天間基地のある場所での議席で平和の 1 議席だ。沖縄の問題について、一緒に果敢に取り組んでいきたい。さらに比例の九州ブロックなどで当選者が出るよう心から期待している」と述べました。

国民 玉木代表「知恵絞りのいい政策を実現していきたい」

国民民主党の玉木代表は、NHK の開票速報番組で「特に経済政策については、全国から非常に大きな期待を寄せていただいた。われわれの立ち位置や政策への期待というのが広がってきたと実感している」と述べました。

また今後の与党との向き合い方を問われたのに対し「信頼できる政治を取り戻す取り組みは野党として厳しく対応していく。一方で、コロナで経済、社会は傷ついているので積極的に政策を出していきたいし、その点は与党、野党は関係ない。知恵を絞りのいい政策を実現していきたい」と述べました。

神奈川 13 区 自民 甘利明幹事長が小選挙区で議席確保できず



自民党の甘利明幹事長は、小選挙区の神奈川 13 区では議席を確保できませんでしたが、比例代表の南関東ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つことになります。現職の自民党の幹事長が小選挙区で敗れるのは、初めてです。

大阪 10 区 立民 辻元清美副代表 小選挙区の議席確保できず



立憲民主党の辻元清美副代表は、小選挙区の大阪 10 区では議席を確保できませんでしたが、比例代表の近畿ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つことになります。

23:54 自民 大阪で候補者擁立の小選挙区 全て敗れる

自民党は大阪府の 19 の選挙区に 15 人の候補者を擁立しましたが、いずれも日本維新の会の候補者に敗れ、議席を獲得することはできませんでした。

東京 3 区 自民 石原宏高氏 小選挙区の議席確保できず



東京 3 区では、自民党の前議員、石原宏高氏が小選挙区で議席を獲得できませんでした。小選挙区で議席を獲得できなかった石原さんは、重複立候補している比例代表東京ブロックの結果を待つことになります。石原宏高氏は東京都の石原慎太郎元知事の三男で、自民党の石原伸晃元幹事長は兄です。

23:36 自公「安定多数」244 議席到達

自民 公明両党の獲得議席は、衆議院でいわゆる「安定多数」となる 244 議席に達しました。衆議院にある 17 の常任委員会すべてで委員長を出したうえで、野党側と同じ数の委員を確保できる、いわゆる「安定多数」の 244 議席に達しました。

維新 松井代表「今の任期で党の代表退任したい」との考え示す



日本維新の会の松井代表は、記者会見で、党の規約に沿って、衆議院選挙のあとに代表選挙が行われた場合には立候補せず、今の任期で代表を退任したいという考えを示しました。

23:28 自民 単独過半数獲得が確実に



自民党は、単独で衆議院の過半数にあたる 233 議席を上回ることが確実な情勢となりました。開票が進む小選挙区や比例代表の各ブロックの得票状況から、自民党は、今後さらに議席を上積みする見通しで、単独で衆議院の過半数にあたる 233 議席を上回ることが確実な情勢となりました。

23:20 自公両党の獲得議席が過半数の 233 議席上回る



神奈川 16 区 自民 義家弘介氏 小選挙区の議席確保できず



神奈川 16 区に立候補した自民党の前議員、義家弘介氏は小選挙区では、立憲民主党の候補に及びませんでした。

23:00 与党 224 議席 野党・他 116 議席 残り 125 議席

獲得議席	自民	公明	立憲	維新	共産	社民	その他
自民	199	137	62	0	0	0	0
公明	62	29	33	0	0	0	0
立憲	25	7	18	0	0	0	0
維新	8	0	8	0	0	0	0
共産	31	14	17	0	0	0	0
社民	6	6	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	9
計	0	0	0	0	0	0	0

社民 福島党首「候補者当選を心から願っている」



社民党の福島党首は、午後 10 時半すぎに党本部で記者会見し「社民党は『生存のための政権交代』を訴えていたので、政権交代できないことは残念だ。政府の新型コロナ対策に対する怒りは手応えとしては感じていたので、沖縄の小選挙区や、比例代表で候補者が当選するよう心から願っている」と述べました。

自民 甘利幹事長 自らの選挙区「落選キャンペーンすごかった」
自民党の甘利幹事長は、ラジオ日本の開票速報番組でみずからが立候補した神奈川 13 区の情勢について「厳しい。もともとは、もっと強かったが、落選キャンペーンがものすごく『こんなことをしているのか』というくらいのことをやられた。見るに耐えないキャンペーンや事実上、フェイクニュースをされた。やった方

が勝ちということになると、まともな選挙にならない」と述べました。

岩手 3 区 立民 小沢一郎氏 小選挙区の議席確保できず



自民党の幹事長や民主党の代表などを務めた立憲民主党の前議員の小沢一郎氏が、小選挙区の岩手 3 区では議席を確保できませんでした。小沢氏は、比例代表の東北ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つこととなります。

22:50 与党 219 議席 野党・他 113 議席 残り 133 議席



立民 枝野代表「かなりの選挙区で大接戦 期待して見守る」



立憲民主党の枝野代表は、午後 10 時すぎに NHK の番組に出演し「かなりの選挙区で激しい大接戦になっているので、期待して見守りたい。自民党に対し一騎打ちの構造を作るとするのが最大野党として目指すべき形ということで、他の野党にも理解してもらい、かなり多くで接戦に持ち込めた。連携の成果はあったと思う」と述べました。

22:20 ごろ 岸田首相 自民 議席減確実で“丁寧に対応考える”



岸田総理大臣は、NHK の開票速報番組で、閣僚経験者や党役員が選挙区で敗れていることについて「選挙区事情はさまざまなので、一概に原因はこうだということは難しいと思う。ただ、4 年間の積み重ねをそれぞれ有権者の皆さんが評価した結果として、ベテランの候補者の敗戦が多く報じられているのだと思う」と述べました。

また「与党で過半数という大きな目標議席を確保したうえで政権運営を考えていく」と述べました。そのうえで、自民党が選挙前の 276 議席から減らすことが確実にしていることについて「政権運営あるいは国会運営にどう影響してくるのかは丁寧に対応を考えていかなければならない」と述べました。

さらに「経済対策を早急にとりまとめたと思う。その中に込めべき内容は、選挙中も訴えさせていただいた。これをしっかりと盛り込めるような規模を確保しなければならぬ。年内に補正予算を成立させたいと思う」と述べました。

維新 松井代表「議員の身分保障についてさっそく法案提出する」
日本維新の会の松井代表は大阪市内で記者会見し「皆さんから貴重な負託をいただいた。国会でも裏切ることなく、実績を積み上げるべくきょうからがスタートだと思う。心して活動していただ

きたい」と述べました。また「単独で法律を出せる力をいただいたので約束通り、政治家だけが優遇される議員の身分保障についてさっそく法案を提出し、これを実現すべく死力を尽くしていきたい」と述べました。

さらに「われわれは改革、成長の分配を前面に押し出して戦った。結果は自公で議席の過半数ということで岸田内閣への支持が高かったということだと思うが、やはり、日本に構造改革が必要だという訴えに一定数の賛同をいただいたことがわれわれの議席増につながったと思う」と述べました。

公明 山口代表 維新と国民の連立加入“なかなか難しいのでは”



公明党の山口代表は、テレビ東京の開票速報番組で「岸田総理大臣のカラーで戦った選挙であり、持ち味がどう票にあらわれてくるかを見ていく必要がある」と述べました。

そのうえで、自民・公明両党の連立政権に日本維新の会や国民民主党が加わる可能性を問われたのに対し「自民・公明両党は、閣僚を出し合ったうえで、政権合意を結んでいるので、そのレベルに達するのはなかなか難しいのではないかと。自公連立は、長い歴史があり、政策の違いを合意につなげる経験や知恵、あるいは選挙協力が実効性を伴うものにするには非常に大きい要素だ」と指摘しました。

岸田首相「政権選択選挙において大変貴重な信任頂いた」



岸田総理大臣はフジテレビの開票速報番組で「自民、公明で過半数は確実なのではないかと予想されており、そのとおりであるならば、政権選択選挙において大変貴重な信任を頂いたということになると思う」と述べました。

そのうえで、自民党が選挙前の 276 議席から減らすことが確実になっていることについて「内容を分析したうえでしっかり受け止め、今後の取り組みの参考にしなければならない」と述べました。

また選挙後の政府 自民党の体制について「今の体制が閣僚も党の役員もスタートしたばかりなので、基本的に変えることは考えないが、個別の人事については、丁寧に本人とも話し合いながら考えていくというのがスタンスだ」と述べました。

茨城 7 区 14 回当選の立民 中村喜四郎氏 小選挙区議席確保できず



立憲民主党の中村喜四郎・元建設大臣は、小選挙区の茨城 7 区では議席を確保できませんでした。中村氏は、比例代表の北関東ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つことになります。

中村氏は 72 歳。昭和 51 年の衆議院選挙に無所属で立候補して

初当選し、その後、自民党に入って建設大臣などを務めました。平成 6 年にゼネコン汚職事件で逮捕・起訴され、自民党を離党して無所属となりました。これまでに 14 回当選しています。

秋田 2 区 自民 金田勝年元法相 小選挙区の議席確保できず



自民党の金田勝年元法務大臣は、小選挙区の秋田 2 区では議席を確保できませんでした。金田氏は比例代表の東北ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つこととなります。

22:00 現在 与党 213 議席 野党・他 107 議席 残り 145 議席



自民 高市政調会長 “ちゃっかり私の政策も”



自民党の高市政務調査会長は、テレビ東京の開票速報番組で、甘利幹事長の小選挙区の情勢について「自民党の役員は、他の候補者の選挙区を懸命に回っていたので、なかなか自分の選挙区に張り付けず、自分の準備も思うようにできない状況があった。まだ結果が分からないが、必ず勝っていただきたい」と述べました。そのうえで、今回の選挙での自民党の公約について、高市氏の政策が多く反映されたのではないかと指摘されたのに対し「岸田総理大臣の政策も入っているし、一緒に総裁選挙を戦った野田聖子氏や河野太郎氏の政策も入っている。もちろん、ちゃっかり私の政策も入れさせていただいたが、しっかりと総務会などの審査も受け、岸田総理大臣にもじっくりと見ていただいたうえで、党議決定したものだ」と述べました。

公明 石井幹事長「野党が一本化した影響あらわれているのでは」
公明党の石井幹事長は、TBS ラジオの開票速報番組で「公明党は、比較的順調に当選確実が出ていると思うが、与党全体では厳しい情勢も伝えられているので、今後の結果を見守っていきたい。今回は、野党が候補者を一本化した影響も、やはりあらわれているのではないかと述べました。

立民 福山幹事長「一本化の動き 国民に一定の支持いただけた」
立憲民主党の福山幹事長は、午後 9 時すぎに NHK の番組に出演し「野党間で協力した選挙区の候補者一本化の動きは、国民に一定の支持をいただけたと思う。まだ最終的な選挙結果が出ていないから軽々には言えないが、接戦で勝ちきって 1 議席でも増やしたい。東京 8 区など一本化の成果は着実に出ています」と述べました。

共産 志位委員長「一本化は自民党を追い詰めるうえで効果」



共産党の志位委員長は、午後9時すぎ党本部で記者会見し「今回の選挙は、野党共闘による政権交代を掲げて戦った。候補者を一本化したことは、明らかに自民党を追い詰めるうえで効果をあげている。政権交代には至らなかったが、今回の1回だけでなく、次の参議院選挙や衆議院選挙でもチャレンジしたい」と述べました。

各選挙区 NHK 出口調査の状況
北海道 11 区



北海道 11 区は、立憲民主党の前議員の石川氏と自民党の元議員の中川氏が競り合っています。

秋田 2 区



秋田 2 区は、立憲民主党の前議員の緑川氏と自民党の前議員の金田氏が競り合っています。

岩手 3 区



立憲民主党の前議員の小沢氏と自民党の前議員の藤原氏が競り合っています。

茨城 7 区



茨城 7 区は、自民党の前議員の永岡氏がやや優勢です。

栃木 4 区



栃木 4 区は、自民党の前議員の佐藤氏と立憲民主党の新人の藤岡氏が競り合っています。

東京 12 区



東京 12 区は、日本維新の会の新人の阿部氏と公明党の前議員の岡本氏が競り合っています。期日前投票の出口調査では岡本さんが上回っています。

東京 16 区



東京 16 区は、自民党の前議員の大西氏と立憲民主党の新人の水野氏が競り合っています。

徳島 1 区



徳島 1 区は、無所属の元議員の仁木氏と自民党の前議員の後藤田氏が競り合っています。

鹿児島 2 区



鹿児島 2 区は、無所属の新人の三反園さんと自民党の前議員の金子さんが競り合っています。

自民甘利幹事長“当選の無所属候補の追加公認手続きとる”

自民党の甘利幹事長は、フジテレビの開票速報番組で、今回の選挙で無所属で立候補した候補者の追加公認の可能性について問われたのに対し「『当選したら党に入りたい』という人やもともと自民党だった人がいる。そこはきちんと手続きはとりたい。執行部で判断したい」と述べました。

また無所属のまま自民党二階派に特別会員として所属し、静岡 5 区で当選が確実になった細野豪志氏を入党させるのか質問されたのに対し「細野氏はもともとそういう希望を持っていたし、もし当選したら、そういう道は付けなければならないということは若干、申し上げていた」と述べました。

21:00 現在 与党 206 議席 野党・他 102 議席 残り 157 議席



国民 玉木代表「手応え感じていた」



国民民主党の玉木代表は午後 8 時半ごろ、東京都内で記者団に対し「小選挙区に擁立した前議員、全員の当選確実が報じられ、ほっとしているし、本当にうれしく思う。大変意義がある勝利だと思っている。10 代、20 代の若い方に『頑張ってもらいたい』という声を直接かけてもらい、手応えを感じていた。さらに私たちの考え方や政策をしっかりと広げていきたい」と述べました。
れ新 山本代表「寄付額は 2 億円 選挙結果待ちたい」



れいわ新選組の山本代表は、午後 8 時すぎに東京都内で記者団に対し「今回の選挙では、おそらく 1 万人を超えるボランティアの方々が 12 日間支えてくれた。また日本や世界にいる有権者から寄付を頂き、その額は 2 億円にのぼった。感謝を伝えたい。このあとどのような選挙結果になるか待ちたい」と述べました。
維新 松井代表「改革が必要だというわが党の主張が広がった」



日本維新の会の松井代表は、午後 8 時半ごろ NHK の取材に対し「分配のためには改革が必要だというわが党の主張が広がり議席を増やすことができそうだと受け止めているが、総じて与党の勝利だ。自民党は前回の選挙で勝ちすぎた分、今回は議席を減らしたのだろう。政府に対しては今後とも是々非々で臨む」と述べました。

N 党 立花党首「1 議席でも取ったら大金星」

「NHK と裁判してる党弁護士法 72 条違反で」の立花党首は、東京都内で午後 8 時すぎに記者会見し「獲得が予想される議席がゼロと報道されているが、特段驚くものではない。議席が取れなかったから代表が責任をとるというものではない。厳しいことはわかっており 1 議席でも取ったら大金星だ。目標としては比例代表の得票率 2%だ」と述べました。

立民 長妻選対委員長代行「一騎打ちであれば成果出ると期待」



立憲民主党の長妻選挙対策委員長代行は、午後 8 時すぎに NHK の番組に出演し「今回の選挙は、全国で接戦区がかなり多い。東京 8 区でもわが党の候補に当選確実が出たように自民党は強くなく、一騎打ちの構造であれば成果が出ると期待している。他の野党との選挙協力は、政権批判票の受け皿、土台を作れたと思う」と述べました。

共産 小池書記局長「与党追い詰めていること明らかに共闘効果」



共産党の小池書記局長は、午後 8 時すぎに党本部で記者会見し「自民党に対する強い批判の声が示された結果になりつつあり、接戦で与党を追い詰めていることも明らかに共闘の効果だと思う。最終的な結果を期待しながら、開票状況を見守っていきたい」と述べました。

自民 甘利幹事長「コロナ禍で不安 不満たまりそれが選挙に」
自民党の甘利幹事長は、NHK の開票速報番組で、みずからが立候補した神奈川 13 区で接戦となっている情勢について「非常に厳しく受け止めている。この国の未来をこう作りたいというプランや思いがなかなか届かなかった。私の力不足だ」と述べました。そのうえで、出口調査の結果などを踏まえた獲得議席の見通しについて問われたのに対し「議席数をかなり減らしているが、コロナ禍でいろいろと不安や不満がたまっていてそれが具体的に選挙という形で受け止められたと思う。理解頂き切れなかったところがある」と述べました。

神奈川 1 区 松本純 元国家公安委員長の落選が確実に



緊急事態宣言のさなかに、深夜まで飲食店に出入りしていたことを受けて自民党を離党し、神奈川 1 区に無所属で立候補した松本純 元国家公安委員長の落選が確実にになりました。松本氏は 8 回目の当選を目指しましたが、立憲民主党の前議員の篠原豪氏に及ばず、落選が確実にになりました。

新潟 5 区 米山氏（無 新）が当確 自民 泉田氏小選挙区確保できず



知事経験者同士が争った新潟 5 区で、自民党の前議員の泉田裕彦氏は、小選挙区では議席を確保できませんでした。泉田氏は、比例代表の北陸信越ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つこととなります。

泉田氏は前新潟県知事で、野党が連携して支援した無所属で新人の米山隆一氏に及びませんでした。

自民 遠藤選挙対策委員長 「『与党で過半数』が当面の目標」

自民党の遠藤選挙対策委員長は、BS 朝日の開票速報番組で「8 月中下旬あたりは、かなり厳しい戦いになると思っていた。私が選挙対策委員長になった時も、全体として逆風の中の選挙かと思っていた。岸田総理大臣は、当初から『与党で過半数』と言ってきた。そこが私たちの当面の目標なので、それをしっかり超えていければいい」と述べました。

自民 甘利幹事長 自身が小選挙区で敗れたら「総裁に身柄預ける」



自民党の甘利幹事長は、TBS の開票速報番組で、自身が小選挙区で敗れた場合の対応を問われたのに対し「総裁に身柄を預けないといけないと思う。まず議席があるかどうか分からないので、そういう状況になってしっかり相談したい」と述べました。

神奈川 13 区 立憲民主党の新人の太氏が、やや優勢



熊本 2 区 16 回連続当選の自民 野田毅元自治相 落選が確実に



16 回連続で当選を重ねてきた自民党の野田毅元自治大臣は熊本 2 区で落選することが確実にになりました。元財務省職員で、無所属の新人の西野太亮氏に及びませんでした。野田氏は、比例代表に重複立候補していないため、落選が確実にになりました。

千葉 6 区 無所属で立候補 生方幸夫氏議席失うこと確実に



千葉 6 区では無所属で立候補した立憲民主党の前議員生方幸夫氏が議席を失うことが確実にになりました。

北朝鮮による拉致問題をめぐり、9 月に開いた市民との対話集会で「拉致被害者はもう生きている人はいない」などと発言していたとして、家族会などから抗議を受け、生方氏は発言を撤回し謝罪しました。これを受け生方氏は、党の千葉県連代表を辞任し公認を受けることも辞退したため無所属での立候補となりました。

千葉 8 区 自民 桜田義孝元五輪相 小選挙区の議席確保できず



自民党の桜田義孝元オリンピック・パラリンピック担当大臣は、小選挙区の千葉 8 区では議席を確保できませんでした。桜田氏は、比例代表の南関東ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つこととなります。

山口 3 区 自民 林芳正元文部科学大臣 初めての当選確実に



参議院議員を辞職し、今回の衆議院選挙に立候補した自民党の林芳正・元文部科学大臣が、山口 3 区で初めての当選を確実にしま

した。

静岡 8 区 自民 塩谷立元文部科学相 小選挙区の議席確保できず



自民党の塩谷立元文部科学大臣は、小選挙区の静岡 8 区では議席を確保できませんでした。塩谷氏は、比例代表の東海ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つこととなります。

東京 8 区 自民 石原伸晃元幹事長 小選挙区の議席確保できず



自民党の石原伸晃元幹事長は、小選挙区の東京 8 区で議席を確保できませんでした。石原氏は、比例代表の東京ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つこととなります。

大阪 11 区 立民 平野博文選対委員長 小選挙区の議席確保できず



立憲民主党の平野博文 選挙対策委員長は小選挙区の大阪 11 区では議席を確保できませんでした。平野氏は、比例代表の近畿ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つこととなります。

香川 1 区 自民 平井卓也前デジタル相 小選挙区の議席確保できず



自民党の平井卓也 前デジタル大臣は、小選挙区の香川 1 区では議席を確保できませんでした。平井氏は、比例代表の四国ブロックに重複立候補しており、比例代表の結果を待つこととなります。

20:00 NHK 出口調査分析 自民 公明両党で過半数の見通し

政党	得票数	議席数	議席率	議席差
自民	115-113	67-73	0	0
公明	63-97	36-44	0	0
立憲	8-9	19-26	0	0
維新	0-1	0-13	0	0
共産	14-18	20-30	0	0
国民	5-6	2-6	0	0
社民	0	1-5	0	0
その他	0-1	0-1	0	0

NHK の出口調査や情勢分析によりますと、自民・公明両党は、目標としていた過半数の 233 議席を上回り政権の継続は確実にです。

ただ自民党は、単独で過半数に届くかどうかはぎりぎりの情勢です。

一方野党側は、立憲民主党が、選挙前の 109 議席から議席を増やす勢いです。また日本維新の会は、選挙前の議席を 3 倍以上に増やす見通しです。

共産党は、8 議席から 14 議席、国民民主党は 7 議席から 12 議

席を獲得する見通しです。れいわ新選組は1議席から5議席を獲得する見通しです。

社民党は2議席まで獲得する可能性があります。

「NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で」は議席の獲得は厳しい情勢です。

諸派と無所属の候補は、9議席から13議席を獲得する見通しです。

20:00までに各党幹部ら党本部入り



岸田総理大臣は、午後8時前、自民党の開票センターが設けられている党本部に入りました。党本部にはすでに麻生副総裁や甘利幹事長ら、党執行部が入っています。

立憲民主党の枝野代表は、午後6時前に党の開票センターが設けられている東京都内のホテルに入りました。